



さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

概要版

解説版



佐呂間町教育委員会

～ はじめに ～

学びや生活の基盤が育まれる架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校第1学年までの2年間）の教育について、保育所や小学校、福祉関係機関等が、立場の違いを越えて連携・協働し、教育の内容や方法を研究するなどして、その質的向上を図ることが求められています。

佐呂間町では、北海道が令和4年度に3カ年計画で立ち上げた「北海道版幼児教育スタートプログラム事業」に参加する形で、令和5年度に「佐呂間町架け橋プログラム事業」を立ち上げました。そして、町内外の学識経験者や教育関係者にご協力いただき、ワーキンググループや開発会議を重ね、令和6年度末にこの「さろまっ子虹の架け橋カリキュラム」を完成させることができました。

佐呂間町の全ての子どもに、しっかりとした学びや生活の基盤を形作ることができるよう、この「架け橋カリキュラム」が活用され取組が展開されること、さらには、より実効性の高いものへと改善されることを期待しています。

佐呂間町において架け橋期の教育に関わる全ての皆様、何とぞよろしくお願いいたします。

令和7年3月

佐呂間町教育委員会

も く じ

- 1 さろまっ子虹の架け橋カリキュラムについて（背景）……………1～7
- 2 カリキュラム概要版・解説版について……………8
- 3 カリキュラム概要版……………9～10
- 4 カリキュラム解説版
 - （1）架け橋期のアプローチカリキュラム解説版……………11～20
 - （2）架け橋期のスタートカリキュラム解説版……………21～35
 - （3）4月のスタートカリキュラム（小学校）……………36～41
- 5 「接続と連携」のポイント……………42～63
- 6 参考資料……………64～67

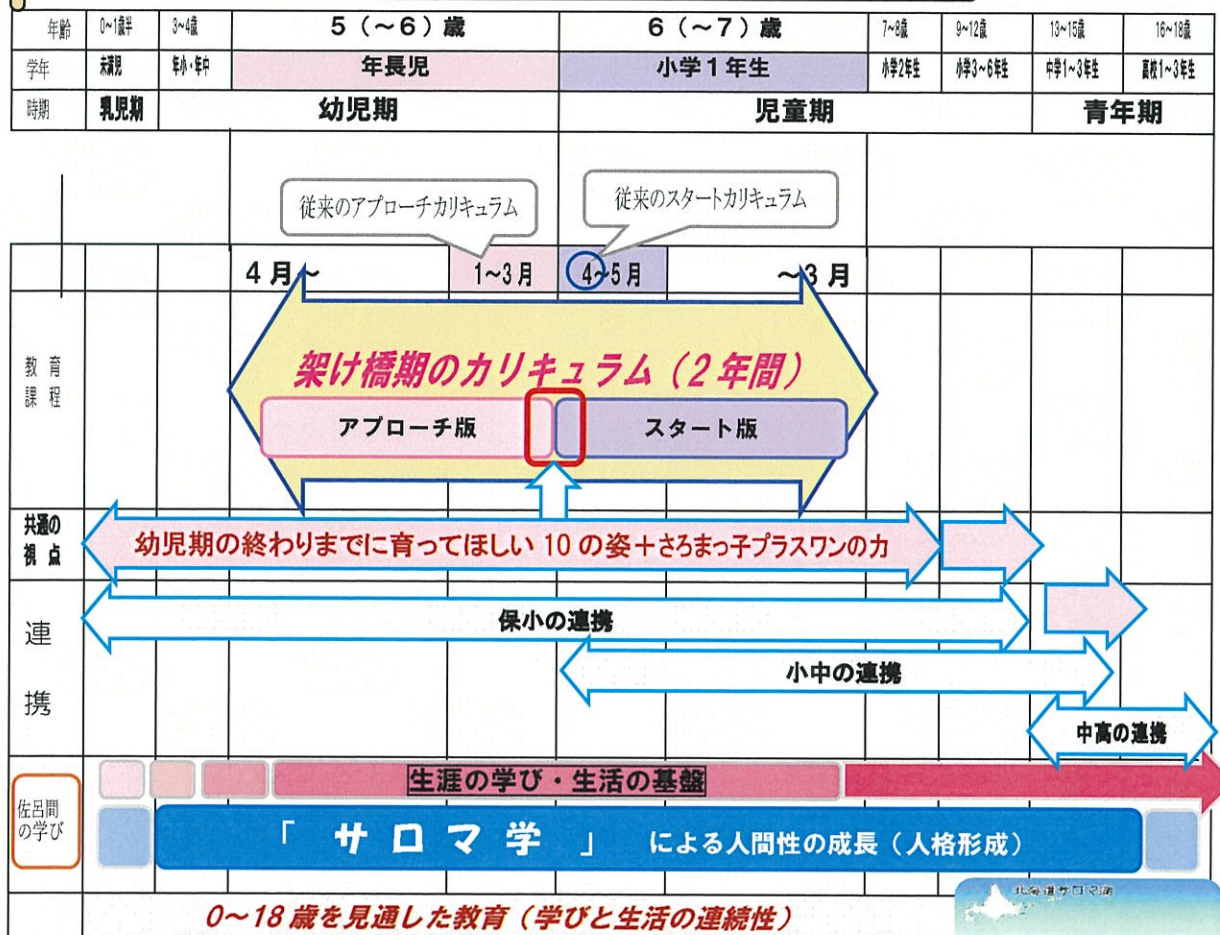


さろまの 子どもたちを つなごう と



1 さろまっ子虹の架け橋カリキュラムについて（背景）

●生涯の学びの基盤としてのさろまっ子架け橋カリキュラム



●全国的な課題と佐呂間町の取組 (『手引き』*の視点から)

☆施設類型の違いを越えた共通性が見えにくい(全国の課題)

→佐呂間町のワーキンググループの協議や日々の実践を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かり（共通の視点）とし、**資質・能力を検討し、それをつなぐカリキュラム**として整備へのご協力をいただきました。

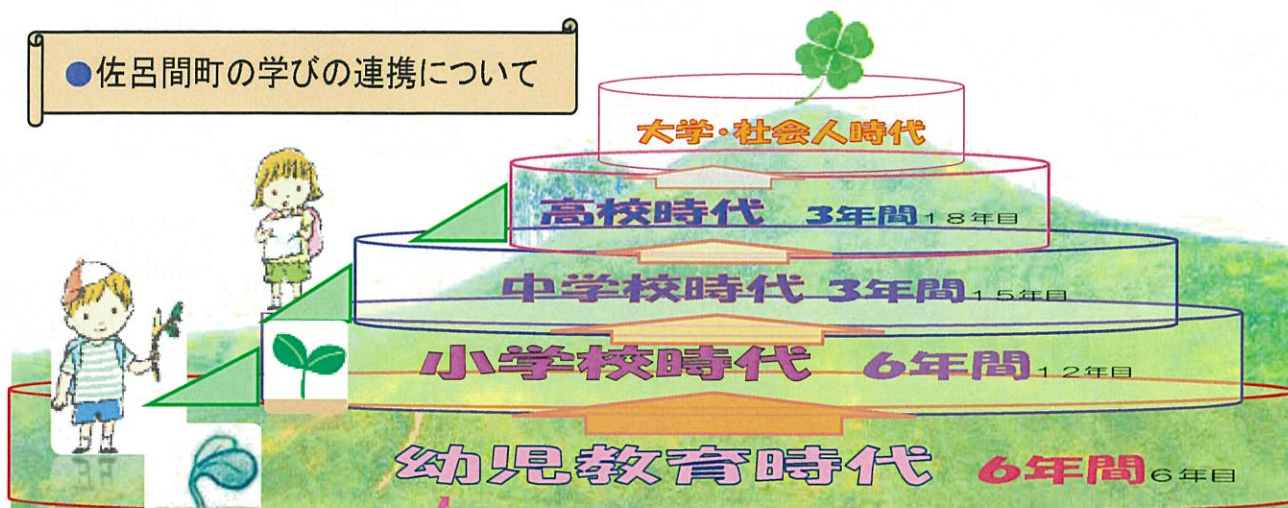


★「日々活かせる視点・ヒント」
として有効活用できるように

★明日に生きる今日の学び、
研修となるように

* 幼保小の架け橋プログラムの実施に 向けての手引き (初版)

●佐呂間町の学びの連携について



「生涯にわたる人格形成の基礎」(教育基本法)

♠リュックに何を背負って行けば良いのか？

- ①「意欲・粘り強さ・協調性」などの社会情動的スキル(非認知能力)*
- ② 知力・体力 をよりバランス良く

そのために

- 先にあるものを見通したい
- 今までの学びを生かしたい
- 可能な限り安心できる環境づくり

接続は

これからの見通しを持ち
今までの学びを
踏まえる

※生活様式や学びのギャップや段差、「戸惑いの壁」への配慮をどの面で出来るか？

教育課程の構成原理の違いは
必要な違いであるが、
子ども一人一人自身にとっての
発達や学びは幼児期と児童期では
っきりと分かれるものではない。

現状
は

戸惑いや悩み
を 一人で 抱え
込む状況...

が全国的に報告
されている*1

♠この違いや「壁（ギャップ）」を埋めて、共通の視点となるものが

「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」です

→ これを共通の視点として生活と学びの接続に活用していきたい。

同時に、「これまでの育ち」と、この時期の「子どもの発達の流れ」を踏まえる。

- ♠ 保育者、教職員の関わり（援助や指導、プロセス）の共通性、
各施設の環境づくり、共通性への配慮 →それぞれの特性を生かしながらも同じ眼で
- ♠ 架け橋期（5歳児から小学校1年生までの2年間）を土台として、その後の小・中・高、18年間の生活と学びをつないでいく。

*1 巻末の資料を参照ください。



●「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」とは？



♠ 幼児期にふさわしい遊びや生活を十分に積み重ねることにより、次のような「具体的な姿」が少しずつ見られるようになります。これは、**到達目標ではなく、伸びゆく姿**です。子どもたちにこれらの「**根っこ**」がしっかり育っていると、小中高そして社会で**あと伸び**します。^{*2}

健康な心と体

保育所（園）の生活の中で、**充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。**

協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考え、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。



自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。



思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

●カリキュラムづくりの経過



各地区ワーキンググループの様子（R5年度）

「架け橋カリキュラムづくり」と、

●多くの素晴らしい実践を見せていただきました



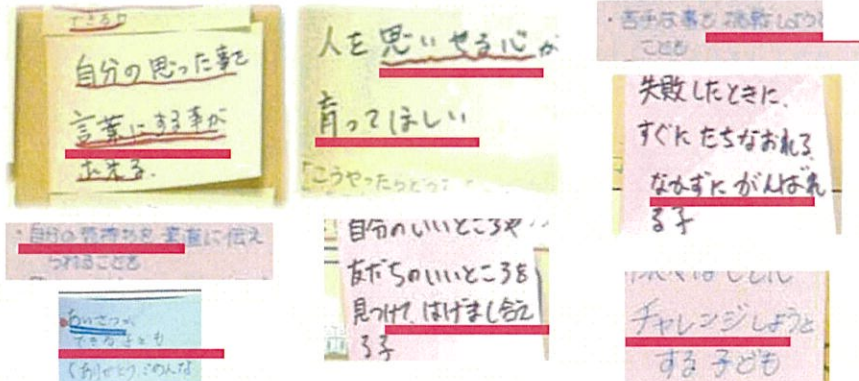
「架け橋期のカリキュラム（概要版）」を意識しながら、先生方の数多くの、素晴らしい実践を見せていただきました。先生方の日々の実践をベースに架け橋期の子ども学びをカリキュラム解説版にまとめました。ご協力大変ありがとうございました。ぜひまた、新たな工夫と、新たな実践への手掛かりとしてください。

●佐呂間町の子どもをどのように育てるか

～昨年のワーキンググループの協議から～

昨年9月から12月までの各地区の施設、学校の委員の先生方からの約 60 余りの声をもとに、「さろまの教育」との関連を持ちながら3つに集約していきました。

育てたい さろまっ子の姿



参考資料2 「育てたいさろまっ子の姿」について(案) 令和5年度 第2回開発会議

令和5年12月 架け橋プログラムワーキンググループより

	【学び・コミュニケーションの力】	【協同・豊かな心】	【体力・自立・チャレンジ】
保育所	★感謝の気持ちや自分の気持ちを素直に伝えられる子ども ★相手の話を聞くことができる子ども	★自分も友だちも大切にする子★友達を受け入れたり、思いやれる子ども★楽しさや喜びを友達と共有出来る子ども	★丈夫で明るく元気な子★あきらめずに苦手なことにもチャレンジしようとする子ども
小学校	★言葉による伝え合いを通し、豊かな未来を創る子ども ★思いや考え、経験したことを分かち合い、自信を持って伝え合える子ども(説明)	★共通の目的の実現に向けて考え、工夫、協力できる子ども ★互いを認め合い、励まし合える子	★自他を大切に、負けずに、決めたところまでやり遂げられる子ども ★自分で考え、行動できる子★丈夫で健康な心と体をつくる子
さろまっ子保小	★思いを伝え合い、豊かな未来を創る子	★認め合い、励まし合える子	★健康な心と体を持ち、やり遂げられる子

①「架け橋期の2年間」の中で、共通・一貫し育てたい力として設定したいと考えます。

②保小各期の詳細については、解説版で別途示したいと思います。

●カリキュラム実践のポイント～保小つなげて伸ばしたい姿・力～

幼児教育	共通してつなげて伸ばしたい姿・力 ～架け橋期の特長～	小学校教育
✳ 幼児期にふさわしい遊びや生活を通して発揮できる環境づくり	【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 … 活動の場面や教科等で現れる子どもの姿 ★健康な心と体 ★自立心 ★協同性 ★道徳性・規範意識の芽生え ★社会生活との関わり ★思考力の芽生え ★自然との関わり・生命尊重 ★数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ★言葉による伝え合い ★豊かな感性と表現	✳ 学習の場で発揮できるように指導・構想・計画に組む
遊びや生活で育ちつつある 資質・能力と遊びのプロセス 学びの芽を伸ばす 	知識及び技能の基礎 特性に気付く 感じる（発見する） 分ったり、できるようになったりする 思考力、判断力、表現力等の基礎 考える 試す 工夫する 表現したりする 学びに向かう力、人間性等 心情、意欲、態度が育つ中で、 より良い生活を営もうとする 遊びや学びのプロセスで発揮される力 ○自発性 ○興味・関心・好奇心・探究心 ○試行錯誤 ○予想、予測、比較、分類 ○触れ合い、新しい考えを生み出す喜び ○見立てる、構成する ○発見・表現の喜び ○諸感覚を発揮する ○体を十分に使う など	教科等で育ちつつある 資質・能力と学びのプロセス 自覚的な学び（学びの双葉）を伸ばす 
✳実践の振り返り	1. 架け橋期の資質・能力を発揮できる場を設定できたか 2. 子どもが生き生きと活動に取り組めたか（よさの発揮）	

「主体的に自己を発揮しながら学びに向かう子ども」を
育むために 自から考え、探究し、発見する力 を伸ばす

☆目指すところは、先細りせず、あと伸びする生きる力です。

➡ 生涯にわたって生き、人生を切り開いていく力（問題解決の能力）。

☆子どもの発達には切れ目なく連続しています。幼児期保育5～6年の充実した生活と遊びや遊びで培ったことが、子どもたちの認知や心の土台を形成してきました。それまでの「活躍と自信」を積み重ねて小学校へと入学します。

➡ しかし、小学校生活との「違いや不安」は大きい。学びと生活をどうつなげられるか？

2 架け橋カリキュラム【概要版・解説版】について

架け橋期のカリキュラム作成に当たって

- ❖この「虹の架け橋カリキュラム」は、佐呂間町各地区の保育所・小学校の保育士の皆様・教職員の皆様の御意見によるワーキンググループの協議と、授業や活動実践における先生方の日々の様々な工夫及び、振り返りの協議をもとにしながら、佐呂間町架け橋カリキュラム開発会議での委員の皆様の貴重な御意見・御協議を経て作成いたしました。
- ❖「解説版」は「概要版」の意味合いと、元になった資料や活動を解説しています。
- ❖アプローチカリキュラムの各項目や内容は主に「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」「**佐呂間町各施設の実践事例、年間指導計画**」「**保育所保育指針解説**」を参考に編集しています。
- ❖スタートカリキュラムの各項目や内容は主に、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」「**佐呂間町各小学校の単元配当表、年間指導計画**」「**小学校学習指導要領解説(各教科・総則編)**」を参考に編集しています。

活用の仕方について

1 位置づけの確認のために

子どもたちの発達の全体の流れ（今までとこれから）の中で、「この活動が今、どの地点に立っているものなのか？」を知り、位置づけを確認するための資料として活用ください。

2 ヒントとして

子どもたちの発達の全体の流れの中で、活動の意味合いを参照するための「手掛かり」や「足場」として、活動を描くためのヒントとして活用ください。

●保育所：「小学校へとつながる活動を見通す・追求する」

●小学校：「保育所からの育ちを踏まえる・生かす」 【巻末資料を参照ください】

3 新しい実践への足場として

活動のマニュアルとしてではなく、これを参考に各保育室、各教室の子どもたちに応じて新たな実践を作っていくための「足場」として活用ください。

解説版の本文中の凡例について

「10の姿」	……	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」
アプカリ	……	架け橋期のアプローチカリキュラム
指 針	……	保育所保育指針解説
スタカリ	……	架け橋期のスタートカリキュラム
要 領	……	小学校学習指導要領解説

<表記について>

※「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」については、カリキュラムの中で一部表現を省略した表記を用いていますが、正しくは本解説書のp4にあるそれぞれの表現ですので、御理解ください。

※保育所と小学校の共通の部分として「子ども（たち）」という表記を使用しています。（参照：「子供（たち）」～小学校学習指導要領等）

さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

概要版

アプローチカリキュラム概要版

スタートカリキュラム概要版



育てたい さるまっ子の姿		第Ⅰ期 【準備期】助走	第Ⅱ期 【進展期】ホップ	第Ⅲ期 【発展期】ステップ	第Ⅳ期 【充実期】ジャンプ	活動船 10の要
思いを伝え合い豊かな未来を創る子		4月・5月	6月・7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月	全ての船に 関連して発達
思いを伝え合い豊かな未来を創る子		①喜んで登所・仲良くあそぶ ★年長組になった喜び・リーダーとしての活躍～	②元気いっぱい遊び ★思いを伝え合い経験を広げる	③決まりを守る ★共通の目的を持って、考え、工夫し力を発揮	④すすんで行動 ★就学への期待を膨らませ絆を深める。	全ての船に 関連して発達
学ぶ力 【しごと】	言葉	絵本 味わう・表現に気付く① 遊び・生活 思いを出し合い遊び生活する⑤ 日直 元気に司会⑧ 遊び・生活 数量への関心 縄跳び、積み木、玉入れ、カルタ、おやつ、絶食⑬	会話 体験・思いを伝える⑥ 掲示物 文字に親しむ・読もうとする⑩ 制作・散策 素材の数や形に気付く⑭ 身の回りの数 合わせていくつ・多い少ない⑯	絵本 想像したり、体験と照らす③ 遊び 工夫・協力し合い遊ぶ⑦ おゆうぎ会 感情豊かに表現する⑪ 身の回りの形 組み合わせ・大きさ・長さ⑯ カレンダー・時計 何日、何時ごろ、数字⑰	伝え合い 伝え合う喜びを感じ、楽しむ④ 作品テーマ 表現したいことをみんなで話し合う⑫ 遊び・生活～数を使う 文字や数量、 標識などを生活で使おうとする⑩	思考力 数・時・場所・字 社会生活
	環境	畑栽培 野菜の苗植える⑱ 散歩 自然に触れる⑲	お世話 動植物の命を育む⑲ 野外観察 生き物に触れ調べる⑲	収穫 ⑲ 隣芝草会制作⑲	情報や施設 ⑲ 雪遊び 雪や氷に親しむ・体験する⑲	思考力 数・時・場所・字 社会生活
	表現	朝の歌 友達と元気に歌う⑲	制作 素材を生かした造形⑲	表現 心豊かに歌、鍵盤、おゆうぎや色んな表現を楽しむ⑲	修了作品 協力して制作、表現する喜びを味わう⑲	表現力 数・時・場所・字 社会生活
	健康	遊び 元気に遊ぶ⑲ あいさつ ⑲	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生⑲	体力 十分遊ぶ・運動する（マラソン、多様な運動）⑲	保健 健康な生活に必要な習慣を身につける⑲	健康 心と体
人間関係 【なごみ】	先生との関わり	お世話活動 ⑲ おしゃべり ⑲	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生⑲	遊びのルール・話し合い⑲	役割の自覚・挑戦 ⑲	社会生活 数・時・場所・字
	環境の構成	入所式 発育測定 お誕生会（各月）健康診断 こどもの日お楽しみ会 避難訓練（毎月）健康診断	七たお楽しみ会 お泊まり会 運動会 保小交流⑲ 遠足 参観日 保小交流⑲	マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき	雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式	社会生活 数・時・場所・字
	保小の交流活動	入所式 発育測定 お誕生会（各月）健康診断 こどもの日お楽しみ会 避難訓練（毎月）健康診断	七たお楽しみ会 お泊まり会 運動会 保小交流⑲ 遠足 参観日 保小交流⑲	マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき	雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式	社会生活 数・時・場所・字
	ご家庭へのお願い	★元気な挨拶を家庭でも、育みましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	社会生活 数・時・場所・字
学ばせたい さるまっ子の姿		4月・5月	6月・7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月	全ての船に 関連して発達
思いを伝え合い豊かな未来を創る子		①喜んで登所・仲良くあそぶ ★年長組になった喜び・リーダーとしての活躍～	②元気いっぱい遊び ★思いを伝え合い経験を広げる	③決まりを守る ★共通の目的を持って、考え、工夫し力を発揮	④すすんで行動 ★就学への期待を膨らませ絆を深める。	全ての船に 関連して発達
学ぶ力 【しごと】	言葉	絵本 味わう・表現に気付く① 遊び・生活 思いを出し合い遊び生活する⑤ 日直 元気に司会⑧ 遊び・生活 数量への関心 縄跳び、積み木、玉入れ、カルタ、おやつ、絶食⑬	会話 体験・思いを伝える⑥ 掲示物 文字に親しむ・読もうとする⑩ 制作・散策 素材の数や形に気付く⑭ 身の回りの数 合わせていくつ・多い少ない⑯	絵本 想像したり、体験と照らす③ 遊び 工夫・協力し合い遊ぶ⑦ おゆうぎ会 感情豊かに表現する⑪ 身の回りの形 組み合わせ・大きさ・長さ⑯ カレンダー・時計 何日、何時ごろ、数字⑰	伝え合い 伝え合う喜びを感じ、楽しむ④ 作品テーマ 表現したいことをみんなで話し合う⑫ 遊び・生活～数を使う 文字や数量、 標識などを生活で使おうとする⑩	思考力 数・時・場所・字 社会生活
	環境	畑栽培 野菜の苗植える⑱ 散歩 自然に触れる⑲	お世話 動植物の命を育む⑲ 野外観察 生き物に触れ調べる⑲	収穫 ⑲ 隣芝草会制作⑲	情報や施設 ⑲ 雪遊び 雪や氷に親しむ・体験する⑲	思考力 数・時・場所・字 社会生活
	表現	朝の歌 友達と元気に歌う⑲	制作 素材を生かした造形⑲	表現 心豊かに歌、鍵盤、おゆうぎや色んな表現を楽しむ⑲	修了作品 協力して制作、表現する喜びを味わう⑲	表現力 数・時・場所・字 社会生活
	健康	遊び 元気に遊ぶ⑲ あいさつ ⑲	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生⑲	体力 十分遊ぶ・運動する（マラソン、多様な運動）⑲	保健 健康な生活に必要な習慣を身につける⑲	健康 心と体
人間関係 【なごみ】	先生との関わり	お世話活動 ⑲ おしゃべり ⑲	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生⑲	遊びのルール・話し合い⑲	役割の自覚・挑戦 ⑲	社会生活 数・時・場所・字
	環境の構成	入所式 発育測定 お誕生会（各月）健康診断 こどもの日お楽しみ会 避難訓練（毎月）健康診断	七たお楽しみ会 お泊まり会 運動会 保小交流⑲ 遠足 参観日 保小交流⑲	マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき	雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式	社会生活 数・時・場所・字
	保小の交流活動	入所式 発育測定 お誕生会（各月）健康診断 こどもの日お楽しみ会 避難訓練（毎月）健康診断	七たお楽しみ会 お泊まり会 運動会 保小交流⑲ 遠足 参観日 保小交流⑲	マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき	雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式	社会生活 数・時・場所・字
	ご家庭へのお願い	★元気な挨拶を家庭でも、育みましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	★健康な生活リズムをつくりましょう	社会生活 数・時・場所・字



さるまっ子虹のかけ橋スタートカリキュラム

概要版 ※丸数字は指導用資料（解説版等）の番号です。

育てたい
さるまっ子の姿

思いを伝え合い豊かな未来を創る子
認め合い、励まし合える子

健康な心と体を持ち、やり遂げられる子

期		第Ⅰ期〔準備期〕	第Ⅱ期〔進展期〕	第Ⅲ期〔発展期〕	第Ⅳ期〔充実期〕	学習指導要領 内容（目標）
月		4月・5月・6月	7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月	
教科等	基礎 10の基礎	脚・礼儀作法 ★さるまっ子+1の資質・能力	★豊かなコミュニケーション力【重点】	★読む力 ★聞く力 ★書く力	★通年の活動	★架け橋期の特長や視点
		★聞く力 ★読む力 ★書く力	★聞く力 ★読む力 ★書く力	★聞く力 ★読む力 ★書く力	★聞く力 ★読む力 ★書く力	
国語科		読もう ① 聞いて、感じて、伝えよう 話そう ⑤ 思いを伝えよう 聞こう ⑨ 相手の話を聞いて聞こう 書こう ⑬ 持ち方・姿勢を考えよう	展開 ② 場面、人物、順序をとらえよう 相手意識 ⑥ 伝わるように話そう 感想と理由 ⑩ 感想と理由を言おう 主語と述語 ⑭ 主語と述語を見つけて書こう	想像 ③ 人物の行動を想像しよう 工夫 ⑦ 声や順序を考えて伝えよう 考えて聞く ⑪ よく聞いて、話を聞こう 書いて伝える ⑮ 記録して伝えよう	想起 ④ 経験と結び、感想を持とう 工夫Ⅱ ⑧ 5W1Hで説明しよう 情報 ⑫ よく聞き、情報を整理しよう 書く工夫 ⑯ 読み方・まとまりの工夫をしよう	読む力 話す力 聞く力 書く力
算数科		数の大きさ ⑪ 身の回りの物の数・順序 →興味・関心を持って探求、数える、合わせよう	式と計算 ⑫ 場面の絵を見て、問題を読み、多い少ないを考え、式にしよう	式と計算 ⑬ 3つの数をお話・ブロック・式で表現してみよう 足し算・引き算を工夫しよう	式と計算 ⑭ 大きな数はどうやって数える？数のまとまり・生活では？/式の工夫	数の概念 式と計算
生活科		時刻 ⑮ 何時かな？ 学校大好き ⑯ 出たのワケや理由 植物の命をよく見てお世話しよう	身の回りの物の数は？ ⑮ 季節を感じる ⑮ 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬	家族とわたし ⑮ 家族が違ふと、自分に何ができるかな？ 季節を感じる ⑮ 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬	測定 ⑮ 探検！～測ってみよう/何時何分？ わたしの一年 ⑮ 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬	身の回りの生活 自然と生活 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬 春・夏・秋・冬
音楽		リズム・歌唱 ⑮ 歌う喜びを一杯に表現しよう	音楽・音楽づくり ⑮ 一緒に音楽を楽しもう	演奏 ⑮ 一緒に演奏する喜びを体験しよう	歌遊び ⑮ わらへ歌や歌遊びを一緒に楽しもう	歌遊び リズム・歌唱 演奏
図工		自由な発想で ⑮ 好きな形や色、材料を生かして	工芸と造り ⑮ 楽しく造って一緒に遊ぼう	お話のあかしや絵 ⑮ 想像を膨らませて造ろう・描こう	試して、創って、楽しむ ⑮ 繰り返し試して創り出そう	図形・造形 立体・造形 試して、創って、楽しむ
体育		運動を楽しむ ⑮ ルールを知り、運動を楽しもう	安全な学校生活 ⑮ 登下校・遊具の安全を知ろう	目標にチャレンジしよう ⑮ 縄跳びなど目標を持って遊ぼう	冬のスポーツを楽しむ ⑮ 冬のスポーツ、雪遊び	冬のスポーツ 安全な学校生活 目標にチャレンジしよう
道徳		学校を楽しく ⑮ 挨拶や協力の大切さを話し合おう	思いやり・真直ぐ ⑮ 人・命を大切に、正直に生きよう	役割・努力・公平 ⑮ 自分の役割に責任を、実践しよう	自分と仲間 ⑮ 自分の長所を知り、家族に感謝しよう	道徳 社会 思いやり・真直ぐ 役割・努力・公平 自分と仲間
特別活動		活動を楽しむ ⑮ やりたこと・得意なことを友達と一緒に	作品発表 ⑮ 思いを自分の言葉で伝えよう	異学年交流 ⑮ 学年と心を通わせ交流しよう	異学年交流 ⑮ 学年と心を通わせ交流しよう	特別活動 活動を楽しむ 作品発表 異学年交流
行事		入学式 ⑮ 一年生を迎える会 運動会 ⑮ 運動会 運動会 ⑮ 運動会	入学式 ⑮ 一年生を迎える会 運動会 ⑮ 運動会 運動会 ⑮ 運動会	入学式 ⑮ 一年生を迎える会 運動会 ⑮ 運動会 運動会 ⑮ 運動会	入学式 ⑮ 一年生を迎える会 運動会 ⑮ 運動会 運動会 ⑮ 運動会	入学式 運動会 運動会
学習指導要領		基礎 10の基礎	基礎 10の基礎	基礎 10の基礎	基礎 10の基礎	基礎 10の基礎
学ばる力		伝える力 数感 自立・探究	伝える力 数感 自立・探究	伝える力 数感 自立・探究	伝える力 数感 自立・探究	伝える力 数感 自立・探究
生きる力		生きる力 たくましく 関わる力	生きる力 たくましく 関わる力	生きる力 たくましく 関わる力	生きる力 たくましく 関わる力	生きる力 たくましく 関わる力
学び遊びのプロセス		学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス	学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス	学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス	学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス	学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス 学び遊びのプロセス
指導上の配慮事項		先生の関わり 環境 構成	先生の関わり 環境 構成	先生の関わり 環境 構成	先生の関わり 環境 構成	先生の関わり 環境 構成
保小の交流活動		保小の交流活動 保小の交流活動 保小の交流活動	保小の交流活動 保小の交流活動 保小の交流活動	保小の交流活動 保小の交流活動 保小の交流活動	保小の交流活動 保小の交流活動 保小の交流活動	保小の交流活動 保小の交流活動 保小の交流活動
ご家庭へのお願い		ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い	ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い	ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い	ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い	ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い ご家庭へのお願い

さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

解説版

【アプローチカリキュラム】



さるまっ子虹の架け橋アプローチカリキュラム【解説版】

アプローチカリキュラム 第 I 期〔準備期〕4～5月（※通年）

活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
絵本 ①③	☆絵本や物語などに親しみながら、お話や表現の面白さを味わい、想像をふくらませながら楽しもうとする。 ●豊かな言葉や表現に興味・関心がもてるよう、気付いたこと、思ったことを問いかけたりなどを通して援助していく。	言葉による伝え合い スタカリ ①② 指針 言葉②③ 活動例
遊び・生活 ⑤ (言葉)	☆遊びや日々の生活の中で、心動かされるような体験・経験をした時に、それを親しい人に言葉で伝えたいとなる。 ☆友だちと思いをし合い、伝え合いながら遊びや活動に取り組もうとする。 ●幼児の話しや思いを聞き取り、友達同士で自由に話せる雰囲気や心の交流の場を作るなど援助する。	言葉による伝え合い スタカリ ①②③④ 指針 言葉⑨
日直 ⑧	☆友達の前で自信を持って日直や行事の司会、発表などをしたり、当番をしようとする。	言葉による伝え合い スタカリ ⑥⑦ 指針 言葉④⑤
鉛筆や筆記具 ⑨	☆クレヨン、マーカー、色鉛筆、鉛筆などの筆記具を正しく持ち、書こうとする。～3指での持ち方を発達に合わせて、段階的に身に付けようとする。 ●発達段階を踏まえながら、徐々に正しい持ち方ができるように、「持ち方体操」などを交えて少しずつ身に付くよう援助する。	言葉による伝え合い スタカリ ⑬ 指針 言葉⑩ ※内容の取り扱い⑤
遊びや生活～数える ⑬	☆生活や遊びを通して、数への関心を持とうとする。 例)・人の数：ドッチボール、鬼ごっこ、花いちもんめ、 ・物の数：カルタやトランプ、積み木、玉入れの数、おやつの数などを数えようとする。 ●環境の中で個数を意識できる遊びや生活経験を豊かにしてゆく。	数量図形、標識文字 スタカリ ⑪⑫ 指針 環境⑨⑩
畑栽培(苗植え) ⑱	☆畑栽培などを通して、生きものを大切に育て、観察する。 例) ジャガイモ・タマネギ・にんじんなどの作物苗植え、水遣りや草取りを楽しむ。～天候や季節を考え、成長を見守りお世話活動をしたり、観察しながら、生きものに親しみを感じ、命を大切に育てようとする。 ●観察の観点を自然に気付かせる一言が将来の学びに生きます。	自然との関わり・生命尊重 スタカリ ⑳ 指針 環境⑤

活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
散歩・ 野外観察 (24)(25)	☆季節を感じながら、公園や堤防などを散歩する。 ～虫などの生き物探し、図鑑で調べる。草木の美しさや変化に感動する。季節ごとの多様ないのちに触れ、命の不思議さに触れる。 ●気付くことや、発見することなど「不思議さに惹かれる感覚」を大切にして、体験を豊かにしてゆく。	自然との関わり ・生命尊重 スタカリ (27)(28)(29) 指針 環境①③ (4)(5)
朝の歌 (29)	☆一日の始まりに、友達と感情豊かに、体一杯元気に歌う。 ●友達と一緒に歌ったり、踊ったり、楽器遊びなどをして楽しめるように援助する。  元気にあさのうたっ!	豊かな感性と表現 スタカリ 34 指針 表現⑥
遊 び (健康体力) (33)	☆体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ●季節や生活の変化を感じ、遊びや運動に取り入れる工夫。 ・外遊び・遊具・鬼ごっこ・スポーツ・プール・運動会練習・縄跳び 特にこの時期の子どもたちの発達特性には個人差があり、「10の姿」も一樣に見られるものではないことに十分配慮して、「体を動かす楽しさ」をいっばいに味わわせたい。 	健康な心と体 スタカリ (42)(43)(44) 指針 健康 (2)(3)(4) 活動例
生活リズム (34)	☆思いっきり遊んだら、休憩を取って切り替えようとする。 ●十分な睡眠、バランスの良い食事、全身を使った活動と休憩などの動と静などの調和を図れるような時間を工夫。 ア) 遊んだ後の水飲み、汗を拭く、着替える、トイレ等 イ) お昼寝をしっかりとれるように、気持ちの切り替え	健康な心と体 スタカリ (47)(48) 指針 健康 (6)(7)
あいさつ (38)	☆元気な「お早う。」「ありがとう。」「ごめんなさい。」を自分から言おうと、少しずつ習慣化できるようになる。 ●楽しさも交えながら、「相手の目を見て」、「気持ちよく」挨拶できるような工夫～楽しくロールプレイングする事も効果的。	協同性 (言葉による伝え合い) スタカリ 50 指針 言葉⑥
お世話活動 (43)	☆新入所児の世話などをして異年齢児との関わり、親しみを持って接しようとする。 ●お世話をしたいという気持ちを大切に、見守ったり、世話の仕方を確認しながら、年下の子と関わる喜びが持てるよう援助する。 	協同性 スタカリ 64 指針 人間関係
関わる力 (44)	☆互いに思いを出し合いながら、様々な遊びを楽しむ中で友達とのつながりをひろげていこうとする。 ☆自分のやりたい遊びを見つけ、気のあった友達との関わりを楽しもうとする。 ●遊びの中で自分を主張したり、相手の意見を受け入れながら、同じ目的に向かって仲間と力を合わせて取り組もうとする姿を認め、保育者も一緒に考えたり共感したりしながら援助していく。	協同性 スタカリ (58) 指針 人間関係 (4)(5)(7)(8)

アプローチカリキュラム 第Ⅱ期〔進展期〕6～9月（※通年）

活動内容 番号	解 説 ● ➡ 「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
聞く (語りかけ) ②	☆先生や友達と心を通わせ、相手の話を注意して、共感しながら聞こうとする。 ●温かな人間関係をもとに、分りやすい言葉で語りかけるなど言葉を交わす喜びや豊かな表現に気付くよう援助していく。	言葉による伝え合い スタカリ ⑨⑩⑪⑫ 指針 言葉①④
会 話 ⑥	☆先生や友達と心を通わせ、楽しかったことや体験したことなどを友達に伝える喜びを味わったり、会話をしようとする。 ●子どもが自分の気持ちや思いを伝え、保育士や友達が話を聞いてくれる安心感、信頼感の中で言葉のやり取りの楽しさを感じられるように配慮する。(「10の姿」)	言葉による伝え合い スタカリ ⑤⑥ 指針 言葉②④
掲示物 ⑩	☆身の回りの掲示物に気付く～ 掲示物や文字を見て、興味を持ち、親しんだり、読もうとしたりする。 ●生活に関わる絵、標識・表示や、あいうえお表などの意味に気付くような環境づくりを一工夫する。 	言葉による伝え合い スタカリ ①⑬ 指針 環境⑨⑩
制作 散策 ⑭	☆日常生活の中で、また制作や散策などの活動を楽しみながら、自分の身の回りの素材の数や形に気付く。 ●自然素材や身の回りの素材の形や数、色や面白さに気付き身の回りの数や形に気付く切っ掛けを生かす。 	数量図形、標識文字 スタカリ ⑪⑫ 指針 環境⑨
身の回りの 数 ⑯	☆日常の生活や遊び、活動の中で「全部でいくつ」、「どっちが多い」など、数えたり、比べたりしながら生活の中の数の大切さにしだいに気づけるようになっていく。 ●子ども達が遊びや生活の中で、物を数えたり、配ったりする活動を楽しむ生活や環境を構成する。 例)「配るおやつの数、物の数」や「人数」などに触れながら、生活経験を豊かにしていく。 	数量図形、標識文字 スタカリ ⑪⑫⑬ ⑫⑬ 指針 環境⑨
お世話 ⑳	☆動植物の命を育む～身近な小動物や畑の野菜などの飼育・栽培を通して、その生きている様子や育つ過程に関心を持ち生命の不思議さや尊さに気づけるようにしていく。 ●「お世話したい」「育てたい」「どうなったかな」などの気持ちを大切に毎日の水遣りなど、自分たちで気づいて出来るように見守ったり、援助したりする。 	自然・生命尊重 スタカリ ⑳ 指針 環境①⑤

活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スターカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
野外観察 ②5	☆散歩や戸外での活動を通して生き物に触れたり、調べたりする。 ●季節を感じながら、公園や堤防などを散歩する～虫などの生き物探し、図鑑で調べる。 草木の美しさや不思議さや変化に感動する。 こうした季節の多様な命に触れる体験を沢山、豊かに重ねて行きたい。  一緒に発見した事物へ子どもたちの「共同注意」が起き、学びを共有します。  こうした「センス・オブ・ワンダー」の感性を育むことが、将来の理科教育や、環境教育につながります。	自然・生命尊重 スタカリ ②7②8②9③0 指針 環境①⑤
制作 ③0	☆素材を生かした造形～素材を組み合わせて、感じたことや想像したことを表現しようとする。 ●素材の感触や色、光沢、形やなど手指の感覚や見た目を味わせながら、様々な組み合わせの工夫や、切り貼りの楽しさ、造形の面白さを共感しながら味わえるように声かけをする。同時に「キラキラ」「ふわふわ」「スケスケ」「きれい！」など語感を豊かにすることができる。 	豊かな感性と表現 スタカリ ③8～④1 指針 表現 ① ⑤ ⑦ 言葉⑦⑧
生活・安全 ③5	☆安全な遊び方・休息、衣服の調節・衛生や身を守ることを基礎を身につけて生活しようとする。 ●身の回りの危険予知や避難訓練と関連させるなど、身を守ることにについて一緒に考えを深める。 	健康な心と体 スタカリ ④2④6⑤9 指針 健康 ③⑥⑦⑩
自ら行動 ③9	☆「自分からやってみよう」「自分で気付いてやってみよう」「自分のことを自分でできる」自信を持って行動しようとする。 ●見通しや、ゆとりを持たせて援助する。 	自立心 スタカリ ④8⑤7 指針 人間関係②③
共感・励まし ④0	☆友だちと関わる中で、お互いの良いところを認め合い励まし合おうとする。～友達や先生と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。 	協同性 スタカリ ⑤0⑤8⑥2 指針 人間関係⑤
良い言葉 ④5	☆体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。 ●自分の言動を振り返り、折り合いを付けられるように、問いかけたり、共に考えたりし、子どもが自分たちで思いを伝え合おうとする姿を十分に認め、支えていく。 	道徳性・規範意識の芽生え スタカリ ⑤1 指針 人間関係⑨⑩
聞く・話す・食べる ④6	☆聞くととき、話すときは相手に心を向けて、共感しつつ聞いたり話したりしようとする。また、日常の食事に感謝し、先生や友達と一緒に食べることの楽しさや喜びに気付いていく。 ●良い聞き方・話し方、良い食べ方などを見せながら 	道徳性・規範意識の芽生え スタカリ ⑤1 指針 人間関係⑥⑪

アプローチカリキュラム 第Ⅲ期〔発展期〕10～12月（※通年を含む）

活動内容 番号	解 説	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
絵本 ③	●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント （☆…子どもの姿） ☆絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合 わせたりして、豊かな言葉や表現を身に付けていく。 ●感じたり、考えたりしたことを伝え合える雰囲気大切にする。	言葉による伝え合い スタカリ ③④ 指針 言葉
遊びや生活 ⑦	☆遊びや生活を通して友達と考えを言葉 で伝え合い、工夫しながら遊びを進め ていく楽しさを味わう。 	言葉による伝え合い スタカリ ⑤⑥⑪⑬ 指針 言葉
おゆう ぎ会 ⑪	☆言葉の響きやリズムを考えて、 感情豊かに表現しようとする。 ●経験したこと、感じたこと、 想像したことを言葉や動き、 遊戯、音楽などで表現したり 演じたりして楽しむ。 	豊かな感性と表現 スタカリ ③⑥⑬ 指針 表現③④⑥ 言葉④⑦⑧ ⑨
身の回り の形 ⑮	☆遊びや生活の中で必要感をもって、多い少ないを比べる ために物を数えたり、長さや広さなどの量を比べたり、 様々な形を組み合わせて遊んだりする。 ●遊びや生活の中から、子どもが色々な形に触れたり、気付い たりして、少しずつ図形に関心をもつようになる。 ～制作や散策：形の面白さ、組み合わせ・大きさ・長さ	数量図形、文字標識 （後半期） スタカリ ②④ 指針 環境⑨
カレンダー・ 時計⑰	☆何日、何時ごろなどの言い方に慣れ親しん だり、興味を持って読んでみたり、尋ねた りしようとする。 ●時計の場合は「長い針が〇〇の所まで来た ら、時間だからね」などの経験を豊かに。 	数量図形、文字標識 スタカリ ②⑤ 指針 環境⑩ 言葉⑩
収穫⑲	☆長い月日をかけて育ててきた作物を、喜びや驚きを持ち ながら収穫する。自然の不思議さや恵みを感じながら、 感謝をし、協力して作業に取り組むことの大切さを体験 する。 ●お世話をして、 収穫となった 達成感を味わ う。  わー、ここにも まだある！ ほくたちで、 ちてるかも～ ぜーの！	自然との関わり ・生命尊重 スタカリ ②⑦⑲ 指針 環境⑨
調理 ⑳	☆作物への感謝と共に、「調理」することを通して「食」 への関心を持つ。 ●カレーライス調理を皆で協力し、 役割を考えながら挑戦する。 →作ったカレーを皆で味わい、 年少児とも交流する。 →喜びと達成感を味わう。 	自然との関わり ・生命尊重 協同性 スタカリ ⑤⑤⑥⑥⑥② 指針 環境④⑨

アプローチカリキュラム 第Ⅳ期〔充実期〕1～3月（※通年を含む）

活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
伝え合い ④	☆伝える相手や状況に応じて、言葉の使い方や表現の仕方を変えるなど、経験したことや考えたことなどを相手に分かるように工夫しながら*言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いて理解したりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。（「10の姿」） ●先生や友達と心を通わせ、温かな人間関係をもとに、次第に具体的な出来事や内容を言葉で交わし合う喜びを通して、豊かな表現に気付けるよう援助していく。  *工夫～（例）Aさん「昨日ね、お家で、ハンバーグを やいだんだよ」Bさん「いいなあ。おいしかった？」Cさん「へー、だれと？」など、経験、興味をお互いつながながら、5W1Hなどを少しずつ意識して楽しく伝え合えることが小学校にもつながります。	言葉による伝え合い スタカリ ⑤⑥⑦⑧ 指針 ①②③④
作品の テーマ ⑫	☆自分たちが表現したいことを友達や先生と話し合いながら、共通のテーマでまとめ、役割分担を一緒に考えるなど、話し合う経験を豊かにする。 ●年下の子ども達の生活に必要なものを、考えたり、話し合わせ、修了生自身の「やってみたい」「役に立ちたい」という気持ちを大切にしたい。 	言葉による伝え合い スタカリ ⑤⑥⑦⑧ ⑤④⑤⑤⑥⑥⑦ 指針 ③④⑤ ※内容の取り扱い②
遊びや生活～（文字や数量・標識を）使う ⑮	☆遊びや生活の中で必要感をもって、多い少ないを比べるために物を数えたり、長さや広さなどの量（数量）を比べたりするようになる。また、標識や文字などに関心をもちながらその役割に気付いたり使ってみたりすることで、興味や関心を深め、感覚が磨かれていく。 ●習熟を目標とするのではなく、生活や環境の中から、体験や気付きを深められるように工夫や配慮をする。 	数量図形、標識文字 スタカリ ⑮⑯ 指針 環境⑨⑩
情報や施設 ⑮	☆後半期の子ども達は好奇心や探究心が一層高まる。身近にあるものから必要な情報を取り入れる姿が見られるようになる。 ●絵本や図鑑、写真、新聞やホームページ、地域の情報等を遊びに取り入れやすいように所内の見やすく所内に設定する等の環境づくりも大切である。 また図書館や高齢者福祉施設などの公共の施設を利用したりする中で、子どもは豊かな生活情報や体験を得ることができる。 	社会生活との関わり スタカリ ⑳㉑㉒㉓㉔ 指針 環境⑪ 関連事項：人間関係⑬
雪遊び ⑳	☆雪や氷、澄み切った空気などの季節の変化を、五感で十分に感じ取りながら、冬場の自然を有効に活用した楽しい遊びを友達と共に生活に取り入れようとする。 ●十分な安全と健康、防寒、着替えの処理の仕方などの基礎を身に付けながら、色々な雪遊びの楽しさを味わう。 	自然との関わり・生命尊重 スタカリ ㉔㉕㉖ 指針 環境①③④

活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「遊びのプロセス」を生かした援助のポイント (☆…子どもの姿)	…10の姿 スタカリ…スタートカリキュラムの関連事項 指針…保育指針
修了作品 ③②	☆みんなで協力して記念に残る作品を作り上げる。 ●自分たちより年齢が下の組のみんなに役に立って、喜んでくれるようなものを、年長組のみんなで知恵を出し合い、一杯話し合いながら考えて、完成までこぎ着けました。 (R5年度の例) おままことの テーブルをつくりました。みんなでなかよくつかってください！ 	豊かな感性と表現 スタカリ ③⑧③⑨④④① 指針 表現⑤⑦
保 健 ③⑦	☆自分の体や健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 また病気にならないように手洗いやうがいを丁寧にしたり、健康のために大切だと感じて、食べ物などのことにも関心をもちつつ、友達と楽しく食事をしたりするなど、体を大切にする活動を進んで行うようになる。 ●家庭とこまめに連絡を取り合いながら、心と体の大切さを子どもと考える。 	健康な心と体 スタカリ ④⑦ 指針 健康⑨
ふれ合い 交流 ④②	☆人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えてみたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。 ●高齢者をはじめ、異年齢の子ども（小学生や中学生）や働く人などの地域の人々で自分の生活と関係が深い人と触れ合ったり、交流したりすることを通して、人と関わる力が育っている。 ア) 高齢者福祉施設・老人クラブへの訪問や触れ合い イ) 地域行事、お祭りなどへの参加体験 ●親や祖父母などの家族のことを話題にしたり、その気持ちを考えたりする中から、子どもが家族から愛されていることに気付き、家族を大切にしようとする気持ちをもつように働きかけることも大切である。	社会生活との関わり スタカリ ③①⑤③⑥④ 校外学習 指針 人間関係⑬ いつもありがとう 
修了に向けて ④⑦	☆修了式に向けてみんなで考えた、演奏や歌、作品作り等を通して、友達と協力し、励まし合いながら一つのものを作り上げていく喜びや、達成感を味わう体験をする。 ●沢山の思い出を振り返りながら、自分たちの成長を確かめ、友達や先生、家族の方への感謝を持ちながら、力を合わせることの楽しさを味わえるよう援助する。 	協同性 スタカリ ⑥④～⑥⑦ 指針 人間関係④⑤

～絵本や物語の読み聞かせ～

絵本①【前期】

絵本や物語、紙芝居などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

子ども達は語られた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面白さなど、美しさに気づいたり、感性を揺らしながら共感する力を身につけていきます。

絵本③【後期】

絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な親しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

さらに、「お話大好き!」「自分でも絵本を読みたい」など物語に関する興味・関心や知識の基礎(場面の様子や登場人物の行動、気持ち、展開を予測する力など)小学校の国語の力に必要な学びの芽が、自然な形で子ども達に育まれていきます。

ワンポイント

- ❖この時期の子どもは「読みの芽生え」が見られるようになります。何回かに分けて読み聞かせるような長いお話では、前回のあらすじを伝えるなどの工夫もできます。
- ❖また、この「読みの芽生え」をもとに、物語を聞き終わった子どもの「気づきを取り上げる」ことは読みの力を伸ばす絶好のチャンスになります。

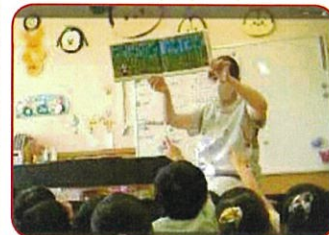
(参考: ミネルヴァ書房「発達No. 173」
「言語教材のつながり」吉永安里先生)



絵本や物語



参照❖手引き「10の姿～言葉による伝え合い」(前半期)



参照❖手引き「10の姿～言葉による伝え合い」(後半期)

❖参考例❖
年長児後半の読み聞かせ
「エルマーのぼうけん」



読み聞かせ
5～6歳
自分で読む
小学校低学年

聞く～語りかけやお話し

子どもは安心や信頼関係を基盤に、保育士や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、自分から共感を持って聞くようになります。

【場面】朝のお話、活動の説明、素話、先生や友達との言葉のやり取り等
その他、行事などでのペープサート、パネルシアター、人形劇 など



ひな祭りでのペープサート～子どもたちが真剣に聞き入っています。

【前期】

遊び・運動～遊びや縄跳び、外遊び～

「縄跳び」～取組時期は様々ですが、4月頃から縄跳びを始めることもあります。「なわとびカード」を片手に、何種類もの跳び方に挑戦したりします。

成長の早さを一様に目指すものではありませんが、早い子どもで、ひと月あまりで100回も跳べる場合もあります。

参照✦手引き「10の姿～健康な心と体」（前半期）



【協同性】との関連

「がんばれ～！」

最後まで跳ぶ子に、回りの子ども達が応援しています。



【後期】

運動会・マラソン

地域の小学校と一緒にを行う6月の合同運動会や、9月に実施する運動会があります。また、マラソン大会や持久走に取り組む保育所や幼稚園もあります。

成長は一様ではありませんが、幼児期の後半には、たくましい体力がまた一段と成長する姿が見られてきます。

参照✦手引き「10の姿～健康な心と体」（後半期）



*できたことを認める・励ます～やる気を育てるには「できたことを具体的に認める」という事が大切です。これが子どもの内発的動機を高めることにつながります。

ワンポイント

✦「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は一人一人の発達の特性に配慮した「育ちゆく姿」を表したものです。この時期の子どもはどうしても個人差が大きいため、そこを踏まえて、新たに出来たところを認め、励まし、むしろ「運動する楽しさ」*を味わわせることが大切です。「楽しさ」を実感してから、「ぼくもがんばってみようかな？」等、「あと伸び」することが期待できます。



*運動や遊び・学びの「楽しさ」は前頭葉を介して、大脳扁桃体を刺激して、「負けない心」「やる気」を引き出し、「最後までやり遂げようとする心」につながります。



さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

解説版

【スタートカリキュラム】



スタートカリキュラム 第Ⅰ期〔準備期〕 **4月～6月**

21

教科	活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
生 活 科	学校大好き き26 	【活動目標】 出会いのワクワク感や期待を持って学校探検しよう ●体験的な学びのプロセス～ 「知りたい」「発見したい」という好奇心を生かして、学校探検を行う。また、「発表する」「協力する」ことなど芽生えを意識した活動内容を設定する。 【单元及び活動内容】 ★わくわく どきどき しょうがっこう	社会生活との関わり 協同性 ア7カリ…24～26 要領…学校・家庭・地域
	咲いてね私の花! 27 合科的な指導 国語科	【活動目標】 植物の生命の成長をよく見てお世話しよう ●保育所時代に野菜の苗植え、栽培、お世話、収穫を経験したことを生かして、自然の命を大切にしながらお世話しながら、観察する。 【单元及び活動内容】 ★きれいに さいてね わたしのはな 他 	自然・生命尊重 自立心 ア7カリ…19～21 要領…社会・自然
	季節を感じよう! 28	【活動目標】 春や夏の自然を一杯探そう ～発見・探究・遊びの工夫 ●諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする～季節の特徴や遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりする活動を多く体験させ生活経験を豊かにしたい。 【单元及び活動内容】 ★きせつと なかよし はる なつ 	自然・生命尊重 ア7カリ…24～28 要領…社会・自然
音楽	リズム・歌唱 34	【活動目標】 歌う喜びを体一杯に表現しよう ●諸感覚を発揮し、豊かな感性と遊び心を生かして、リズムや拍の面白さを感じ、体を使って楽しもうとする。 【单元及び活動内容】 ★うたっておどって なかよくなろう ★はくを かじとろう 	豊かな感性と表現 ア7カリ…31 要領…歌唱・器楽
図画工作	自由な発想で 38	【活動目標】 好きな形や色、材料を生かして作ろう! ●好きな形や色、材料を生かし、手や体の感覚を働かせて自由な発想で表現を楽しむ。 ・紙コップからの自由作品ほか 【单元及び活動内容】 ★すきな かたちや いろ なあに ★ねんどで ごちそう なにつくろう 他 	豊かな感性と表現 ア7カリ…30・32 要領…表現 (造形遊び)
体育科	運動を楽しもう 42	【活動目標】 ルールを知り、運動を楽しもう! ●全身を動かす喜びを感じながら「体ほぐしの運動」や、「鬼遊び」などに親しみ運動の楽しさを味わう。また、安全な運動のルールを知る。 【单元及び活動内容】 ☆体ほぐしの運動遊び ☆走・跳の運動遊び ☆固定施設・鉄棒 ☆安全のきまり 他 	健康な心と体 ア7カリ…33・36 要領…体つくり の運動遊び

教科	活動内容 番 号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 77カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
(健康・安全関連)	安全な 学校生活 ④6	【活動目標】 登下校・遊具の安全を知ろう ●体験しながら、道路の渡り方、安全な遊具の使い方を身に付けていく 【单元及び活動内容】 ★特別活動、生活の全般指導 ★体育…器械・器具(固定施設)  	健康な心と体 77カリ…③③③⑤ 要領…特別活動～学級活動の(2)ウ 体育…器械・器具を使っ ての運動遊び
道徳	学校を楽しく ⑤0	【活動目標】 挨拶や協力の大切さを話し合おう ●テーマについて、その都度友達との交流を行い、自分の意見と友達の意見を「同じ」「似てる」「違う」などの違いに気付かせながら、考えを深め合う。 【单元及び活動内容】 ★がっこう だいすき ★きもちのよい せいかつ ★あかるいあいさつ ★なかよくね★あしたはえんそく 他	道徳性・規範意識 思考力 77カリ…③⑧④⑦ 要領…C(14)よりよい 学校生活、集団生活の充 実、B(8)礼儀、 A(3)節度、節制
特別活動	どうぞ よろしく ⑤4 	【活動目標】 「楽しい学級作り」を話し合おう ●保育所時代の当番を思い起こしながら、「学級にどんなことが必要か」「自分にどんなことができるかを」自発的に考えられるよう問いや考えさせることを大切にする。 【单元及び活動内容】 ☆「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」 他 	協同性 自立心 77カリ…④⑦ 要領…学級活動の内容 (1)イ役割・協力
生活行事	豊かに 関わる ⑤8	【活動目標】 やりたい遊びを友達と一緒にできる仲間作り ●少しずつ、学級の仲間に自発的に声をかけ、グループ遊びを楽しんだり、全員遊びをしたりするように声をかけたり、援助したり、見守ったりする。 【生活全般～休み時間】 	協同性 自立心 77カリ…③③④①
	当番 ⑥2	【活動目標】 活動を友達と協力して取り組む ●昼休みなどに、自主的に掃除を積極的に「楽しむ」姿勢が子どもたちの中で生まれ、周りの多くの子どもたちが感化されることがある。 学級で「黒板消しの神様」が生まれたりもする。 【单元及び活動内容】 ☆特別活動～学級活動 内容(1)イ役割・協力  	協同性 自立心 77カリ…⑧ 要領…学級活動 内容 (1)イ役割・協力
さつまっ子フラスワンの力	豊かな コミュニ ケーショ ンカ 	【活動目標】 対話的な学習活動や発表力・発信力を高める～話し合いや伝え合う活動・聞く活動から～ ●自分の思いや考えを、どのように伝えたとお互いが楽しいコミュニケーションになるかを、考え、体験させる。 (活動例) ☆コミュニケーション実践例として、子どもと教師によるロールプレイを見せ、そこからこのテーマの続きに挑戦させる等の工夫。「自由な発想のコミュニケーション」を子どもたち同士で行わせた。	言葉による伝え合い 77カリ…④⑥⑫ 要領…「言語活動の充実」「コミュニケーションや感性・情緒」イ

スタートカリキュラム 第Ⅱ期〔進展期〕 7月～9月 (※6月の単元を含む)

教科	活動内容 番号	解 説 ●👉「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
国 語 科	展開 ② 読む	【活動目標】場面、人物、順序をとらえよう ●架け橋期の子供たちが持つ「見立て」や「言葉のリズム」への豊かな感性を生かして、演じたり、読み合ったりしながら登場人物の行動などを実感を持って捉える。 【単元及び活動内容】 ★おおきなかぶ ★おむすびころりん ★やくそく ★うみのかくれんぼ 他 	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 ア7カリ…①②③ 要領…読むこと・イ 言語活動例イ
	相手意識 ⑤ 話す(聞く) 関連事項	【活動目標】伝わるように話そう ●心通わせる中で「言葉のやり取りを楽しみ、共感する」といった経験(「10の姿」)を生かし、温かい雰囲気大切にしながら、好きなことや経験したことを、友達に伝わるように事柄の順序や理由を考えて話す。 【単元及び活動内容】 ★好きなこと なあに ★こんなことがあったよ 他	言葉による伝え合い 思考力 ア7カリ…④⑤⑥ 要領…話すこと・聞く ことア、イ 言語活動例 イ
	感想と理由⑥ 聞く(話す)	【活動目標】自分の考え・感想と理由を言おう ●温かい雰囲気の中で、心を開いて興味・関心を通わせようとする発達特性を大切にしながら、友達の質問に対して、答えとその理由を伝える言い方、書き方(まとめ方)を確認する。 また、まとめたことを使って感想や良い点などを伝える言い方を練習する。 【単元及び活動内容】★好きなこと なあに ★みんなに しらせよう 他	言葉による伝え合い 思考力 ア7カリ…④⑤⑥ 要領…話すこと・聞く ことア、ウ 言語活動例 ア 書くこと ウ
	主語・述語⑭ 書く 合科的な指導 生活科	【活動目標】ア) 主語・述語を見つけて書こう イ) 記録して伝えよう エ) 経験したことをまとめよう ●諸感覚の発揮・試行錯誤～色、形、手触り、匂い等への鋭敏な感覚を生かして、観察した事柄の様子を言葉での表現の仕方を自分なりに試しながら、「観察カード」などにまとめる。 【単元及び活動内容】★おおきくなった ★こんなことがあったよ 他 	言葉による伝え合い 思考力 ア7カリ…④⑤⑥ 要領…書くこと ア 言語活動例 ア、 イ
算 数 科	式と計算 ⑫	【活動目標】場面の絵を見て、問題を読み、多い少ないを考え、式にしよう ●数量への関心や感覚が芽生え始めた段階であることを踏まえ、具体物や親しみのある絵を用いながら、少しずつ数学的活動へ結びつけていく。 【単元及び活動内容】 ★ぜんぶでいくつ ★のこりはいくつ ★どれだけおおい 他	数量図形、標識文字 思考力 ア7カリ…⑬⑬⑬⑬ 要領…数と計算
	数の整理 ⑬	【活動目標】身のまわりの物の個数は？ ●身の回りのものから生活に関する身近な具体物を触ったり、イメージしながら、繰り返す活動を取り入れる。 【単元及び活動内容】 ★かずをせいりして 他 	数量図形、標識文字 思考力 ア7カリ…⑬⑬⑬⑬ 要領…数と計算

教科	活動内容 番号	解 説 ●▶「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要綱…学習指導要領
生活科	ちいさないのち ⑳	【活動目標】 どうしたら動物や虫などの命を大切にできるか考えよう。 ●身の回りの小さな生き物～小動物や昆虫などがどのように生きているかを観察したり、お世話したり、調べたりしながら「ちいさないのち」に対する愛情やいのちの大切さを体験しながら学ぶ。 例) クワガタムシ、カブトムシ、チョウチョバッタなどの昆虫採集と飼育 ほか 【単元及び活動内容】 ★なかよくならうね 小さなともだち 他 “かぶちゃん”など名前を付けて、お世話と観察をずっと続けました。 	自然・生命尊重 自立心 ア7カリ…⑳ 要綱…社会・自然
	器楽・音楽づくり ㉔	【活動目標】 一緒に音楽を楽しもう ●鍵盤ハーモニカの音色や階名、演奏の仕方に興味を持ち、仲良く楽しみながら学習する。 ●見つけた音の面白さを紹介し合う。 【単元及び活動内容】 ★みのまわりのおとに みみをすまそう ★どれみとなかよくならう 他 	豊かな感性と表現 ア7カリ…㉔ 要綱…器楽 音づくり
図工	工夫して造ろう・描こう ㉔	【活動目標】 楽しく造って一緒に遊ぼう（通年） ●何度も試したり、色々と組み合わせたりすることが得意な架け橋期の子どもの特長を生かした環境を構成する。 【単元及び活動内容】 ★いっしょにあそぼう★べったんコロコロ ★たいせつボックス ★いろいろなかたちのかみに 他 	豊かな感性と表現 数量図形、標識文字 ア7カリ…㉔㉔ 要綱…造形・工作 鑑賞
体育	色々な運動 ㉔	【活動目標】 体を十分ほぐしながら、マット遊び、表現・リズム、鬼遊び、プール遊びなど多様な運動に挑戦 ●体を動かすことの楽しさや喜びを全身で感じる時期である。楽しくできる遊び方を選んで、多様な動きをつくる運動遊びをする。 【単元及び活動内容】 ☆(1) 運動遊びの楽しさ・方法・動き ☆(2) 運動遊びの工夫、考えたことを他者に伝える マットを使った運動遊びの指導法の方の例 ○マットの配置を工夫して、いろいろな方向に転がる場をつくる  「小学校体育指導の手引き」* スポーツ庁編 p51 より *各校に配置しています。	健康な心と体 協同性 思考力 ア7カリ…㉔㉔㉔㉔ 要綱…器械・器具を使っての運動遊び 他 活動例
	体の健康 ㉔ (特別活動)	【活動目標】 水分補給や、体調管理、衛生の大切さを知ろう ●保育所時代から身につけている習慣を継続する。 「運動の後は、手洗い、うがい、水分補給」 【単元及び活動内容】 ☆健康・安全に留意する態度 ※3・4学年以降の「保健」指導への関連事項として特活などで扱う 	健康な心と体 ア7カリ…㉔ 要綱…特別活動 学級活動 (2) ウ

教科	活動内容 番 号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要綱…学習指導要領
道徳	優しく・真直ぐ ⑤1 	【活動目標】人・命を大切にし、正直に生きよう ●子どもの持つ優しさや、思いやり、想像力を豊かに引き出しながら、友達との対話では、互いを尊重し、丁寧な対話になるように配慮する。 ○生きている命の素晴らしさを感じ、生命を大切にしようとする【生命】 ○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとするについて話し合える【正直】 【単元及び活動内容】 ★きんのおの ★かぞくとお話し ★やさしいひとみつけた 他	道徳性・規範意識 思考力 ア7カリ…④0④5 要綱…A(2)正直、誠実、C(13)家族愛、家庭生活の充実B(6)親切、思いやり
特別活動	お楽しみ会 ⑤5 	【活動目標】「楽しい学級行事」を話し合おう ●初めての小学校で頑張った友達と、楽しい活動を計画し、自分たちが主役となりアイデアを出し、会を進める。 【単元及び活動内容】 ☆(1)学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」 ～自発的、自治的な集団活動の計画や運営 	協同性 自立心 ア7カリ…④1④4 要綱…特別活動～学級活動の(2)イ
生活行事	生命の安全 ⑤9 	【活動目標】命の大切さを知り、防災意識を持とう ●体験的な活動を通して、生命の安全の大切さと身を守る大切さを知る。(場面や状況を徐々に意識的に理解し、整理しながら) ○防災訓練 ～火災、地震、竜巻、津波などへの知識と体験 【単元及び活動内容】 ★生命の安全の大切さ・防災意識の向上 他	協同性 自立心 ア7カリ…③5 要綱…特別活動～学級活動の(2)ウ
生活行事	作品発表 ⑥3 さつまっ子フラスワンの力 	【活動目標】思いを自分の言葉で伝えよう ●作品の好きなところ、どのように作ったか、工夫したところ、難しかったところ、この作品を作ろうと思った理由、どのように遊ぶかなどを、友達にできるだけ具体的に説明しながら「作品への自分の思い」を相手に分るように伝えられるよう支援する。 また、友達の発表を聞いて質問や感想を具体的に伝えることも、同時に発信力を高める良い経験となる。 関連する「10の姿」 「伝える相手や状況に応じて、言葉の使い方や表現の仕方を変えるなど、経験したことや考えたことなどを相手に分かるように工夫しながら言葉で伝える」  【関連する教科「国語」話すこと・聞くことの言語活動】 ア 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり、感想を述べたりする活動。 イ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 関連指導 スタートカリキュラム⑧工夫Ⅱ(5W1Hで説明) ❖少しずつ、原稿から離れて話す練習、聞く相手を見る練習へ。	言葉による伝え合い ア7カリ…⑥ 要綱…国語～話すこと・聞くこと(1)(2)言語活動 特別活動～学校行事の内容(2)

スタートカリキュラム 第Ⅲ期〔発展期〕 10月～12月

教科	活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
国 語 科	想 像 ③ 読む	【活動目標】 人物の行動を想像しよう ●物語の場面の様子を、題名や挿絵、言葉の表現から想像しながら、共感したり、見立てる力を生かし、物語の展開や面白さを豊かに感じ取る。 【单元及び活動内容】 ★くじらぐも ★たぬぎの糸車 ★おかゆの おなべ他 【年長児の読み聞かせの経験】 参考例)「せかいいちれいぎたしい かいじゅう ポンバルボン」シリーズ等	言葉による伝え合い ア7カリ…①②③ 要領…読むことエカ 言語活動例 イ
	工 夫 (8～9月 ころ) 話す(聞く)	【活動目標】 声、順序などを考えて伝え合おう ●「伝えたい思い」を生かし、内容を友達に聞きやすい話し方や役割に応じた話し方を考えながら「発表の仕方」「伝え方」を工夫する。 【单元及び活動内容】 ★みんなに しらせよう(夏休みの思い出、経験など) ★ものの なまえ 他	言葉による伝え合い ア7カリ…①②③ 要領…話すこと聞くことア、エ 言語活動例 イ
	考えて 聞く⑪ 聞く(話す)	【活動目標】 よく聞いて話しをつなごう ●共感する力を生かし、友達の話に関心をもち、相手の発言を受けて感想を持ち、話をつないだりできる。 【单元及び活動内容】 ★どんな おはなしが できるかな ★これはなんでしょう 他	言葉による伝え合い ア7カリ…①②③ 要領…話すこと聞くことア、エ 言語活動例 イ、ア
	書いて 伝える ⑮ 書く	【活動目標】 記録したり、まとめたり、お話しを書いたりして伝えよう ●未知なもの、不思議なものに対する興味・関心、探究心を生かし、「よく見て、まとめる」「書いてまとめる」「人に伝える」ことの大切さを感じながら活動する。 ♣学校で見つけたものや、飼っているもの、自分が経験したことなどから書くことを見つけ、カードなどに記録して家の人などに伝え、感想をもらう。 【单元及び活動内容】 ★しらせたいな みせたいな ★じどう車ずかんをつくろう ★どんな おはなしができるかな ★てがみで しらせよう	言葉による伝え合い ア7カリ…①②③ 要領…書くことア～カ 言語活動例 ア、イ、ウ
算 数	式と計 算⑱	【活動目標】 ○3つの数をお話・ブロック・式で表現してみよう ○足し算・引き算を工夫しよう。 ●概念化が進み、具体的事物なら関連付け易い段階なので、具体物や図などを用いることを大切に、計算のしかたを考える力を身につける。また、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ。 【单元及び活動内容】 ★3つのかずのたしざん、ひきざん ★たしざん ★ひきざん	数量図形、標識文字 思考力 ア7カリ…⑬⑯⑱ 要領…数と計算
	図形⑲ 関連的な指導 図工科	【活動目標】 形で遊ぼう、組み合わせてみよう ●身の回りにあるものの形に関心をもち、観察したり、構成したり、分解したりすることに主体的に取り組もうとする。 【单元及び活動内容】 ★かたちあそび → 合科的・関連的な指導	数量図形、標識文字 思考力 ア7カリ…⑬⑯⑱ 要領…数と計算

教科	活動内容 番 号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
生活科	季節を感じよう230	【活動目標】秋を探そう～予想・観察・遊び・作品の工夫 ●豊かな感性や創造力、好奇心、探究心を発揮させ秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出す。 【单元及び活動内容】 ★きせつと なかよし あき 他 	自然・生命尊重 協同性 ア7カリ…26 27 要領…社会・自然
	家族とわたし 31 合科的な指導 道徳科	【活動目標】家族が喜ぶこと・自分に何ができるかな？ ●この時期の子どもが持つ優しさや、自分の役割への意欲、温かい人間的な触れ合いによる充実感をうまく引き出しながら、活動に結びつけたい。「自分が役に立てた」という自己充実感は、次回の自発的な活動につながっていく。 【单元及び活動内容】 ★かぞくにここにこ 大さくせん 他 	自然・生命尊重 ア7カリ…42 48 要領…学校・家庭・地域
音楽	演奏 36	【活動目標】いっしょに演奏する喜びを体験しよう（発表） ●学習発表会や親子演奏会などに向けて、音楽の楽しさを感じながら、鍵盤ハーモニカや打楽器の音色を味わいながら、一緒に演奏する喜びを体験する。 【单元及び活動内容】 ★せんりつで よびかけあおう ★がっきと なかよくなろう ★ようすを おもいうかべよう 他	豊かな感性と表現 ア7カリ…31 要領…器楽の活動 ウ（アイ）
図工	お話しのある形や絵 40	【活動目標】想像を広げて造ろう・描こう ●自分なりの発想を生かし、身近な材料を使ってみんなで楽しめるものをつくり、生活を豊かにしようとする 【单元及び活動内容】 ★おはなし だいすき 他	豊かな感性と表現 思考力 ア7カリ…30 32 要領…工作・絵
体育	目標にチャレンジ44	【活動目標】持久走（かけっこ）や縄跳びなど目標を持って挑戦する ●自己の体力を知りながら、跳び箱や持久走（かけっこ）、縄跳びなどに目標を描いて、楽しみながら取り組む。 【单元及び活動内容】 ★かけっこ～“マラソン大会”（発展事項） ★跳ぶ運動遊び 	健康な心と体 ア7カリ…36 要領…走・跳の運動遊び
	(健康・安全関連) 調和のとれた生活48 (特別活動)	【活動目標】1日の生活の仕方を知ろう（※中学年以降の保健分野との関連） ●運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活など1日の生活の仕方を知り、よく考えて実践する。 【单元及び活動内容】 ※食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活の基本の理解 ～ 道徳や学級指導の中で 	健康な心と体 ア7カリ…35 要領…特別活動 学級活動 (2) ウ

教科	活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要綱…学習指導要領
道徳	役割・努力 か公平 ⑤2 関連的な指導 生活科	【活動目標】自分の役割に気付き、実践しよう ●「役に立ちたい」という気持ちが芽生え始める時期であることを生かして、自分のやるべき役割やしごとに気付かせたり、目標を描いて、勉強に取り組もうとする。 【希望と勇気、努力と強い意志】 【単元及び活動内容】 ★きゅうしょくとうばん ★おふろそうじ 他 	道徳性・規範意識 思考力 ア7カリ…47 要綱…C(12) 勤労、公共の精神、
	力を合 わせて ⑤6	【活動目標】学芸会の成功に向けて話し合おう ●自己有用感や効力感が芽生え始めてくる時期である。一人一人の活躍の場が大切であることをお互いが確認し合う中で、どの場面で自分が努力したいかについて、集団の中で確認し合うことが大切となる。 【単元及び活動内容】 ★学芸会への取組（器楽、劇、遊戯など） 他	協同性 自立心 ア7カリ…31 要綱…特別活動～ 学校行事の内容(2)
生活行事	給食・食育 ⑥0 関連的な指導 サロマ学	【活動目標】食への感謝とマナーを知ろう ●「食事が用意される」背景について、農業・酪農・漁業産品などサロマの食の開拓史、地場産業との関係から、伝えられる場面を生かし、作ってくれる人、運んでくれる人などへ感謝する心を一歩進めて学び、育てたい。 例) ホタテ、サロマ牛肉、サロマポーク、カボチャ 地場野菜ほか ○栄養教諭の方、保護者の方、地域の方との連携や学習場面と連携 【単元及び活動内容】 ★食への感謝と食べ方の基本 ～【食育】これまでの栽培や収穫の経験を生かす。 	健康な心と体 社会生活との関わり 協同性 ア7カリ…46 要綱…特別活動 学級活動(2) エ
	異学年交流 ⑥4 合科的な指導 関連的な指導 	【活動目標】上学年と心を通わせ交流しよう ●上学年との交流を通じて、お世話すること、されること話しかけること、かけられること、一緒に遊んだり活動することの心地よさを少しずつ理解し始める時期である。 温かい関わり方のポイントについて伝えておきたい。 【単元及び活動内容】 ★生活科 ★体育科～運動会 ☆特別活動 ☆校外学習、行事 ☆休み時間 等様々な交流場面が設定できる   	社会生活との関わり 協同性 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 ア7カリ…42

スタートカリキュラム 第Ⅳ期〔充実期〕 1月～3月

教科	活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 77カリ…カリキュラム関連事項 要綱…学習指導要領
国語	想起 ④ 読む	【活動目標】経験と結びつけて、読んだ感想を持とう ●自分の経験と結び付けながら主人公の様子や物語の展開を読み、感想を持つ→場面によって振り返りのポイント、比較のポイントをできるだけ子どもに考えさせる。★「違いは?」「何と比べて?」「どうしてだろう?」 【单元及び活動内容】 ★くらべてよもう「どうぶつのお赤ちゃん」★わらしべちょうじゃ (★ずうと、ずっと、大すきだよ)	言葉による伝え合い 思考力 77カリ…④⑤⑥ 要綱…読むこと オ、カ 言語活動例 ウ、イ
	工夫Ⅱ ⑧ 話す(聞く) 読む	【活動目標】5W1Hでせつめいしてみよう(発展) ●初発の感想を大事にし、さらに発展として、事柄の順序や人物の行動や気持ち等の情報と情報を5W1H(いつ、どこで、だれが、なぜ等)を手掛かりに整理し、理由の伴った感想として、友達と交流する。 ※5W1Hは佐呂間としての発展的な扱い (*ワーキンググループの協議から) 【单元及び活動内容】 ★ずうと、ずっと、大すきだよ 他	言葉による伝え合い 思考力 77カリ…④⑤⑥ 要綱…読むことエ、カ 言語活動例 イ (※内容と感想交流)
	情報 ⑫ 聞く(話す)	【活動目標】よく聞き、情報を整理しよう ●①色や形、動き、様子などの情報をノートに整理して、クイズを考えたり、伝え方を工夫したりする。 ②少しずつ自己表現が多様になってくる時期である。友達と関わるようになってくる時期でもある。相手の話にしっかりと関心を持てるように要点を伝え、情報を整理するために必要なことを自分たち自身に考えさせる。 (参考)「聞き方名人」などの要点も踏まえる 【单元及び活動内容】 ★これは、为什么呢 他	言葉による伝え合い 思考力 77カリ…④⑤⑥ 要綱…話すこと・聞くこと ア、オ 言語活動例 イ
	書く工夫 ⑯ 書く 合科的な指導 生活⑬ 特活⑭	【活動目標】続き方・まとまりの工夫をしよう ●「うれしかった」「がんばった」など客観的*に自分を振り返ることができる時期となる。一年の出来事を箇条書きや表にまとめるなど工夫をしながら内容ごとのまとまりを段落に分け文章を構成していく。→お互いの発表を聞いて感想を交流する。 【单元及び活動内容】 (★ことはあそびをつくろう) ★いいこと いっぱい 一年生	言葉による伝え合い 思考力 77カリ…④⑤⑥ 要綱…書くことイ、ウ 言語活動例 ア
算数科	式と計算 ⑳	【活動目標】大きな数はどうやって数える?数のまとまり・生活では?/式の工夫 ●教室内外にある身の回りにある大きな数に目を向け、どうやったら数えられるかを考えさせる。 ○120までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。 【单元及び活動内容】 ★大きなかず ～身の回りの数・経験や実感との関連を持つ ★どんなしきに なるかな	数量図形・標識文字 思考力 77カリ…⑬⑯⑰ 要綱…数と計算
	測定 ㉕	【活動目標】探検しよう!～測ってみよう/何時何分? ●「身の回り」の環境との対話～ ※教室内外のいろいろなものを探し、測って比べる活動。 ※自分の生活時刻を振り返る活動「時刻」を意識づける。 【单元及び活動内容】 ★くらべかた (12月予定单元) ★なんじなんぷん	数量図形・標識文字 思考力 77カリ…⑬⑯⑰ 要綱…数と計算

教科	活動内容 番号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 ア7カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
生活科	季節を感じよう3 ③②	【活動目標】 雪や氷などの自然を観察しよう/遊ぼう ●自然に対する感性や驚き、好奇心、工夫、試行錯誤などの学びのプロセスを生かして、風や雪、氷などの特性を使った安全な遊びを考えさせる。 例) ○風や雪や氷を使った遊びを工夫して遊んだり、自分で氷を作ったりして楽しむ。 ・雪玉、雪だるま、キャンドル、風車、凧 ○雪や氷を使った遊びのおもしろさや自然の不思議さについて友達に伝え合う。 〔科学的思考〕氷ができる場所について考えたり、日なたと日陰の違いを比べたりする。 【単元及び活動内容】 ★きせつと なかよし ふゆ 他  	自然・生命尊重 豊かな感性と表現 協同性 健康な心と体 思考力 ア7カリ…②④～②⑧ 要領…社会・自然
	わたしの一年 ③③	【活動目標】 一杯増えたよ、できること/2年生に向っての夢 ●自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどを振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。 【単元及び活動内容】 ★もうすぐ2年生～架け橋カリキュラム ◆「書く工夫⑩【国語】」(★いいこと いっぱい 一年生) ◆「見つけたよ! ⑦」【特活】と合科的・関連的指導	自立心 社会生活との関わり 思考力 ア7カリ…④⑧、行事 要領…自分の成長 学校・家庭・地域
音楽	歌遊び ③⑦	【活動目標】 童歌や歌遊びをいっしょに楽しもう ●協同性、親和性、「遊び力」を生かして、身振りを交えて童歌や合奏で遊びながら楽しんで歌う喜びを味わう。 【単元及び活動内容】 ★にほんのうたを たのしもう ★みんなであわせて たのしもう	豊かな感性と表現 ア7カリ…②⑨③① 要領…歌遊び リズム
図工	試して、創って、楽しもう④	【活動目標】 繰り返し試して、創り出そう ●作り方を工夫し、材料の使い方を繰り返し試しながら、新しい価値をつくりだすことに喜びを持つ。 【単元及び活動内容】 ★はこでつくったよ★うつしたかたちから  	豊かな感性と表現 ア7カリ…③⑩③② 要領…絵や立体、工作
体育	冬のスポーツを楽しもう⑤	【活動目標】 スキーや雪遊びにチャレンジしよう! ●幼児期の豊かな戸外遊びの経験を生かして、冬場の外遊びやウィンタースポーツに挑戦する。 【単元及び活動内容】 ★スキー ★雪遊び 他 	健康な心と体 ア7カリ…②⑧ 要領…器械・器具を使つての運動遊び

教科	活動内容 番 号	解 説 ●「10の姿」や「学びのプロセス」を生かした指導のポイント (★…教科書 ☆…学習指導要領上の位置づけ)	…10の姿 77カリ…カリキュラム関連事項 要領…学習指導要領
(健康・安全関連)	冬の生活と安全 49 (特別活動)	【活動目標】冬の安全な生活、防寒を考えよう～授業との関連指導 ●北国での楽しく、安全な遊び方や過ごし方を身に付ける。 【单元及び活動内容】 関連指導～5・6学年保健(2)ア、イ「けがの防止」 ☆安全な雪遊び、外遊びの指導 ☆屋根下、雪山などの注意喚起	健康な心と体 77カリ…35・28 要領…特別活動 学級活動 (2)ウ
道徳	メッセージ 53	【活動目標】自分の長所を知り、家族に感謝しよう！ ●「たぶんこう思うだろう」と自分や相手の心がより見え始める時期である。自分のよさやと家族への感謝の気持ちを思い浮かべ、形にさせたい。 【单元及び活動内容】 ★「すき」からうまれた「そらめくくん」 ★みんな みんな、ありがとう 他	道徳性・規範意識 思考力 77カリ…42 要領…A(4)個性の 伸展、B(7)感謝
特別活動	見つけたよ！ 57 合科的な指導 生活科	【活動目標】自分と仲間の成長を伝え合おう。 ●視野が一步広がり、自分を見詰めたり、新たな段階の優しさや、互いの共感性を高めるチャンスでもある。 この時期は脱中心化*により、自分中心のものの見方から、自分や他者を少しずつ、俯瞰して眺めようとし始める時期である。この発達段階を捉え、自分と仲間の良いところや成長を振り返らせ、カードや交流で伝え合うなどの経験は次学年以降の協調性を高める良い機会となります。 【单元及び活動内容】 ☆特別活動～学級活動 内容(2)イ よりよい人間関係の形成 ★生活科「もうすぐ2年生」 1年かんを おもい出そう *自己中心性から離れ、「脱中心化」が進む時期に当たります。 (ピアジェ) また、「多視点の思考」や「記憶・思考を振り返って認知できる「メタ認知」の知性」が次第に発達し始めます。 *こうした「振り返りの活動」を通してメタ認知の力を高めることは、将来的に「自己調整学習」につながります。【巻末資料参照】	協同性 自立心 77カリ…47・48 要領…学級活動 内容(2)イ
生活行事	ようこそ 61	【活動目標】入学予定児を温かく迎えよう！ ●年少児への優しさやいたわりの気持ちを多く持つ時期である。 入学予定児を一日入学などで温かく迎えるための準備やアイデア、工夫、話し合いをすることを通してお世話をする経験を増やしてゆくチャンスである。 【单元及び活動内容】 ☆特別活動 内容(2) イよりよい人間関係の形成 ★生活科「もうすぐ2年生」 ～あたらしい 1年生を むかえよう	社会生活との関わり 協同性 77カリ…42 要領…学級活動 内容(2)イ
	ありがとう 65	【活動目標】お世話になった6年生に感謝を届けよう！ ●入学時期に大変お世話になった6年生への感謝の思いをどのように形にできるか、学級で話し合い、意見を認め合いながら、目的に向かってまとめていく貴重な経験の場となる。 【单元及び活動内容】 ☆特別活動(学級活動) 内容(1)ウ及び学校行事 ★道徳科 B〔感謝〕	社会生活との関わり 協同性 77カリ…42 要領…学級活動 内容(2)イ

「おはなし ききたいな」



【単元の目標】 読み聞かせを聞いて楽しむ

◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)工)

★文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表 C(1)才) 配当時間 2時間(読むこと領域②)

【対応するさろまっ子アプローチカリキュラムの番号】③ (①、②、④)

重点③：幼児期の活動経験

物語の展開を想像したり、自分の体験と照らし合わせながら読み聞かせを聞こうとする。



【保小接続の視点】●「前経験、安心、興味・関心、共感」

保育所時代には、長い期間継続して保育士から数多く(毎日1～2冊程度)の本の読み聞かせをしてもらった経験がある。多くの絵本や物語に触れ、豊かな「読み聞かせ」の経験を重ねた土台がある。【アプローチカリキュラム解説版参照】

①子どもたちには登場人物の心情に寄り添い、共感しようとする感受性や、自己の思いを重ねて物語の展開を感じていく感性が育まれている。

この単元では、幼児期に培われた豊かな読み聞かせの経験から、**物語を聞いて感じたことや、良いと思ったこと、疑問に思ったことなどを多く引き出したい。**

②子どもたちは読みたい絵本を皆で選択するといった機会も経ており、ここでも「選択の機会」を与えることで、幼児期に培った「自発性」や自己の興味・関心に基づいて読む事への「主体性」を引き出したい。

【発問例】

- ① 「保育所の時は、どんな素敵な本に出会いましたか？」
- ② 「その本のどんなところが好きでしたか？」

※**読後は時間が許す限り多くの児童に発表させる機会を持ったり、互いの感想を共有持つ場面を大切にしたい。**

※学習活動例としては「年間指導計画」等を併せて参照下さい。



【光村図書「こくご(一上)」より】



「マットサーキット」

(器械・器具を使つての運動遊び)



【単元の主な目標に関する内容】

- ◎各種の運動を楽しむための活動の仕方などを児童の力に応じて工夫する。
- ◎運動遊びを通して運動の楽しさを味わわせる。
- ◎運動を通して体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付ける。

【単元の主な技能】

- マットを使った運動遊び マットに背中や腹などをつけていろいろな方向へ転がって遊んだり、手や背中で支持しての逆立ちなどをして遊んだりする。

【対応するさつまっ子アプローチカリキュラムの番号】③③ ③⑥ ②⑧

【保小接続の視点】

●「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(健康な心と体)

充実感をもって自分のやりたいことに向かって、繰り返し挑戦したり諸感覚を働かせたりして、体を思い切り使って活動したりするなど、心と体を十分に働かせる。

- 学びのプロセス「興味・関心、活動の意欲、挑戦・探究、試行錯誤」
- 前経験 保育所時代には、アプローチカリキュラム解説版にあるように、縄跳び、多種多様な運動、長い距離のかけっこ(マラソン)など様々な運動に取り組み、体を動かすことの楽しさを経験してきている。

(写真)「マット運動など複合 マットサーキット」の様子



●主な活動内容

マット運動の工夫～子どもたちは大変活発に取り組みました。
体育館をいくつかのチャレンジコーナーに分け、跳ねる、ケンパ、川跳びなどアドベンチャー風のサーキットコースをセットし、活動しました。
子供たちは一生懸命に、歓声を上げ、楽しみながら挑戦しました。

●実践の振り返りから

「アドベンチャー・サーキット」のようなゲームや遊びの要素が入ること
で、子どもたちの意欲が高まり、「チャレンジしたい!」という気持ちを
引き出せたと思います。

➡「10の姿」の「体を思い切り使って活動する」ことが意識されて、また
学びのプロセスの「わくわくしてやってみたい」「挑戦したい」という子ども
たちの意欲を引き出せる大変良い活動実践になりました。



※保小連携学習活動ワンポイント※

この時期の児童(架け橋期)の特徴(特長)

- 「身のまわりの数量や図形」に対する興味・関心が高いです。
- ある観点に応じてものの集合をとらえることができます。
- 「対応」による個数の比較はできます。



- ものの個数を半具体物に置き換えて比較することができる段階です。

※6～7歳：前操作期～具体的操作期(前期)→数量の大きさを具体的な事物やイメージと結びつけて理解する段階

→数え上げること(「カウントオール」)によって、数の大きさを捉えることができる。
数え上げで100まで数えられる子も多い。(※保育所時代などには、縄跳びで、100回以上跳んだ経験をしてきている子どももいる。)

- 1対1対応を線分、箱、マス目など目で確認して捉えることができる。

【前経験の振り返り】

❖「どんなおやつを配ったことある?」「一人何個あたるの?」

「みんなどんな野菜を育てた?」「カレーライス(野菜)は?」

～保育所の子どもたちの部屋は?(きりん、くま、うさぎ、りす、あひる、ひよこ、)いつも来ている子たちの部屋は6個だったね。

【学習活動(例)】(数学的活動～○身の回りの事象の観察○(半)具体物操作)

①動物、物の数をどうやったら比べられるかな?(見方・考え方)

異なる色のおはじきや、ブロックなどで並べて比べる。多い少ない。足りる足りない。

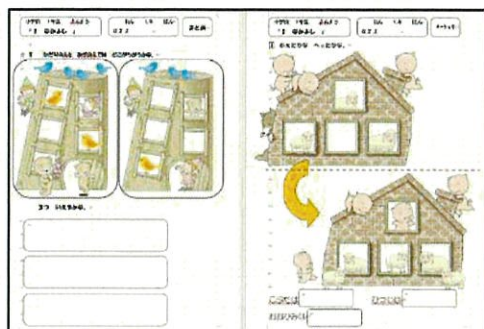
②どんな「数」が隠れているかな?

絵の中のもの～プリントA(教科書の後の導入など)、プリントB

教室の中のもの

学校探検で見つけたもの → 数を発表し合い、多い少ないを比べる活動

靴の数、今日の教科書の数、学校に来る日の数、教室の窓、ロッカーの数



(プリントA「数の違い、変化」)



(プリントB「動物の数を数えよう」)

さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

4月のスタートカリキュラム



さろまっ子スタートが/キュラム 1 週目(4月7日～4月11日)

ねらい：学校にはどんな場所にどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる。
楽しく安心して過ごす。

	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
行事	入学式				
朝	朝の準備(上着かけ・学習用具準備・提出物確認・トイレ) おひさまタイム				
朝の会		はじめのあいさつ・朝のあいさつ・出欠確認・健康観察・先生からのお話・終わりのあいさつ等			
1		わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム
		○がっこうだいすき ・トイレ・手洗い場 くつばこの使い方 ・1日の生活 学0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・用具の出し入れ ・学校探検 ・なんていおうかな 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・なんていおうかな 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・こんなものみつけたよ 国0.5 生0.5
2	ぎょうじ	なかよしタイム	なかよしタイム	なかよしタイム	ずこう
	・入学式	○うたっておどって なかよくなろう 音0.5 生0.5	○体育館でルールを 守って仲良く遊ぶ ・おにごっこ 体1	○うたっておどって なかよくなろう 音0.5 生0.5	○すきなもののなかに ・好きな絵をかいてみよう 図1
3	わくわくタイム	きらきらタイム	きらきらタイム	きらきらタイム	さんすう
	・担任紹介 ・明日からの予定 ・配布物	・安全な下校 ・帰りの支度 ・おはなしききたい な 国0.5 学0.5	・安全な下校 ・帰りの支度 ・おはなしききたい な 国0.5 学0.5	・はるがきた ・帰りの支度 ・おはなしききたい な 国0.5 学0.5	○なかよしあつまれ 算1
4	おひさまタイム …登校後、自分で好きな遊びを選択して取り組む活動時間です。 ✧絵本、折り紙、お絵かきグッズ、かるた、トランプなどの安心基地づくりです。				
5	わくわくタイム …生活科と他の学習と関連付けたり、合科的に学ぶ時間です。 幼児期の学びを生かしながら、主体的な学びを作っていきます。				
	なかよしタイム …良い人間関係を作ったり、学校生活になれたりする時間です。安心して自分を発揮できる学級の雰囲気を作っていきます。				
下校	きらきらタイム …お話をしっかり聞いて学習したり、全員で集中して取り組むことを学ぶ時間です。子どもが示した興味や関心を学びの種に生かします。				

さるまっ子スタートカリキュラム 2週目(4月14日～4月18日)

ねらい：学校にはどんな場所にどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる。
友だちと仲良く過ごす。

	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
行事		給食開始			
朝	朝の準備(上着かけ・学習用具準備・提出物確認・トイレ) おひさまタイム				
朝の会	はじめのあいさつ・朝のあいさつ・出欠確認・健康観察・先生からのお話・終わりのあいさつ等				
1	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	こくご	わくわくタイム
	○がっこうだいすき ・学校探検 ・こんなものみつけたよ 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・こんなものみつけたよ 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・こんなものみつけたよ 国0.5 生0.5	・おはなしききたいな ・ひらがな 国0.5 書0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・どうぞよろしく 国0.5 生0.5
2	なかよしタイム	こくご	こくご	ずこう	きらきらタイム
	○体育館でルールを守って仲良く遊ぶ ・おにごっこ 体1	・はるがきた ・かくことたのしいな 国1	・はるがきた ・ひらがな 国0.5 書0.5	○すきなもののなあに ・好きな絵をかくてみよう 図1	○防犯教室 学1
3	こくご	さんすう	さんすう	どうとく	さんすう
	・はるがきた ・かくことたのしいな 国1	○なかよしあつまれ 算1	○なかよしあつまれ 算1	○がっこうだいすき 道1	○なかよしあつまれ 算1
4		きらきらタイム	きらきらタイム	きらきらタイム	きらきらタイム
		・そうじと給食のことを知ろう 生0.5 学0.5	・そうじと給食のことを知ろう 生0.5 学0.5	・そうじと給食のことを知ろう 生0.5 学0.5	・そうじと給食のことを知ろう 生0.5 学0.5
5					
下校					

さるまっ子スタートカリキュラム 3週目(4月21日～4月25日)

ねらい：学校や学級のきまりを守って、落ち着いて過ごすことができる。

そうじや給食に慣れる。

	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)
行事		5時間授業開始		参観日	
朝	朝の準備(上着かけ・学習用具準備・提出物確認・トイレ) おひさまタイム				
朝の会	はじめのあいさつ・朝のあいさつ・出欠確認・健康観察・先生からのお話・終わりのあいさつ等				
1	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	こくご
	○がっこうだいすき ・学校探検 ・どうぞよろしく 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・どうぞよろしく 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・どうぞよろしく 国0.5 生0.5	○がっこうだいすき ・学校探検 ・どうぞよろしく 国0.5 生0.5	・うたにあわせてあ いうえお ・ひらがな 国0.5 書0.5
2	なかよしタイム	さんすう	こくご	こくご	なかよしタイム
	○体育館でルールを 守って仲良く遊ぶ ・体ほぐし 体1	○なかよしあつまれ 算1	・うたにあわせてあ いうえお ・ひらがな 国0.5 書0.5	・うたにあわせてあ いうえお ・ひらがな 国0.5 書0.5	○1年生を迎える会 学1
3	こくご	ずこう	ぎょうじ	なかよしタイム	なかよしタイム
	・うたにあわせてあ いうえお ・ひらがな 国1 書1	○ねんどでごちそう なにつくろう 図1	視力検査 二計測	○うたっておどって なかよくなろう ・校歌 音1	○ルールを守って仲 良く遊ぶ ・かけっこ 体1
4	わくわくタイム	ずこう	さんすう	わくわくタイム	さんすう
	○きもちのよいせい かつ 道0.5 生0.5	○ねんどでごちそう なにつくろう 図1	○いくつかな 算1	○きもちのよいせい かつ 道0.5 生0.5	○いくつかな 算1
5		きらきらタイム	なかよしタイム	さんすう	なかよしタイム
		・内科検診 ・なんていおうかな 行0.5 国0.5	○体育館でルールを 守って仲良く遊ぶ ・体ほぐし 体1	○いくつかな 算1	○うたっておどって なかよくなろう ・校歌 音1
下校					

さろまっ子スタートカリキュラム 4週目(4月28日～5月2日)

ねらい：これまでの学校生活を振り返り、1ヶ月の成長を確かめる。

	28日(月)	29日(火)	30日(水)	1日(木)	2日(金)
行事		昭和の日			開校記念日
朝	朝の準備(上着かけ・学習用具準備・提出物確認・トイレ) おひさまタイム				
朝の会	はじめのあいさつ・朝のあいさつ・出欠確認・健康観察・先生からのお話・終わりのあいさつ等				
1	こくご		わくわくタイム	わくわくタイム	
	・どうぞよろしく ・ひらがな 国0.5 書0.5		〇がっこうだいすき ・学校探検 ・遊具で遊ぼう 体0.5 生0.5	〇がっこうだいすき ・学校探検 ・遊具で遊ぼう 体0.5 生0.5	
2	たいいく		こくご	こくご	
	・かけっこ ・おにごっこ 体 1		・こえにだしてよもう ・ひらがな 国0.5 書0.5	・よくきいてはなそう ・ひらがな 国0.5 書0.5	
3	こくご		ぎょうじ	さんすう	
	・こえにだしてよもう ・ひらがな 国0.5 書0.5		〇ひなんくんれん 行 1	〇いくつかな 算 1	
4	さんすう		さんすう	どうとく	
	〇いくつかな 算 1		〇いくつかな 算 1	〇あかるいあいさつ 道 1	
5	おんがく		ずこう	ずこう	
	〇はくをかんじとろう 音 1		〇ちょきちょきかざり 図 1	〇ちょきちょきかざり 図 1	
下校					

さるまっ子スタートカリキュラム 単元関連表(4月)

なかよしタイム・おひさまタイム

歌	手遊び	ダンス	わらべうた	おにごっこ	ゲーム	自由遊びみんな遊び
---	-----	-----	-------	-------	-----	-----------

国語	算数	音楽	図画工作	体育	道徳	特別活動
はるがきた						
かくことたのしいな	なかよしあつまれ	うたっておどってなかよくなろう	すきなものなあに	体ほぐしの運動遊び	がっこうだいすき	安全な下校
なんていおうかな	いくつかな	はくをかんじとろう	ねんどでこちそうなにつくろう	走の運動遊び	きもちのよいせいかつ	給食と掃除のことを知ろう
こんなものみつけたよ			ちょきちょきかざり	おにあそび	あかるいあいさつ	防犯教室
おはなしききたいな				固定施設を使った運動遊び		1年生を迎える会
どうぞよろしく						
うたにあわせてあいうえお						
こえにだしてよもう						
よくきいてはなそう						

生活科	わくわくタイム
	がっこうだいすき

(R6年度)4月の週案の実践例

1ねんせい じかんわい

4がつ	8日 (げつ)	9日 (か)	10日 (すい)	11日 (もく)	12日 (き)
よてい	にゅうがくしき	げこうしょう 12にちまで			
あさ		おひさまタイム	おひさまタイム	おひさまタイム	おひさまタイム
1	にゅうがくしき	わくわくたいむ	わくわくたいむ	わくわくたいむ	おんがく
		がっこうだいすき	がっこうのきまり	がっこうだいすき	うたっておど
		なかよしタイム	わくわくたいむ	こくご	2けい
2		よろしくね	がっこうだいすき	かくこと	
				たのしいな	
3		きらきらたいむ	きらきらたいむ	さんすう	
		あんぜんに げこうしょう	あんぜんに げこうしょう	なかよし あつまれ	
4		おひさまタイム			
5					
もちも					
げこう	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
わかさと バス	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40

おひさまタイム

登校後、自分で好きな遊びを選択して取り組む活動時間

学活+音楽

わくわくタイム

幼児期の学びを生かしながら、他の学習と関連付けたり、合科的に学ぶ時間

合科的な指導例)

例1) 国語+生活
学校での挨拶の仕方、話の聞き方等を学んでから、「学校探検に行ってみよう」といった関連が多くあった。

例2) 生活+国語+生活
学校で見つけたものをみんなに分りやすく伝える工夫をして表現する。

なかよしタイム

良い人間関係を作ったり、学校生活に慣れたりする時間

合科的な指導例)

国語+生活

自分の顔を書いて、みんなの前で自己紹介する

きらきらタイム

・・・お話をしっかり聞いて学習したり、全員で集中して取り組むことを学ぶ時間

合科的な指導例)

例1) 国語+学活「私のおひさま」

～「見方、感じ方が皆違うね」

例2) 生活+学活「安全な下校の仕方」

～通学路の確認、持ち物と帰りの準備の仕方などを総合的に学ぶ

おひさまタイム～登校後、自分で好きな遊びを選択して取り組む活動
わくわくタイム～学習と関連づけて行う活動

なかよしタイム～全員で取り組み、学校生活に慣れるための活動
きらきらタイム～学習や、全員で集中して取り組む活動

【まいにちのもちもの】

- ① じかんわりにかいてあるきょうかの、きょうかしよとノート
- ② ふでばこ
- ③ れんらくノート
- ④ れんらくぶくろ
- ⑤ はんかち・ティッシュ

【ふでばこのなかみチェック!】

- ☐ えんぴつ (Bいじょう) 2～3ほ
- ☐ さんかくえんぴつ (4B) 1～2ほ
- ☐ えんぴつ 1ぼん
- ☐ あおえんぴつ 1ぼん
- ☐ けしご 1こ



ここでは生活科が学校生活や各教科導入への「ガイドブック」のような役割を果たしている。

3～4週目ぐらいまでを重点に、生活科を中心とした柔軟で、体験的で、合科的(関連的な)学びが多くあり、子ども達のわくわくした姿が随所に見られます。

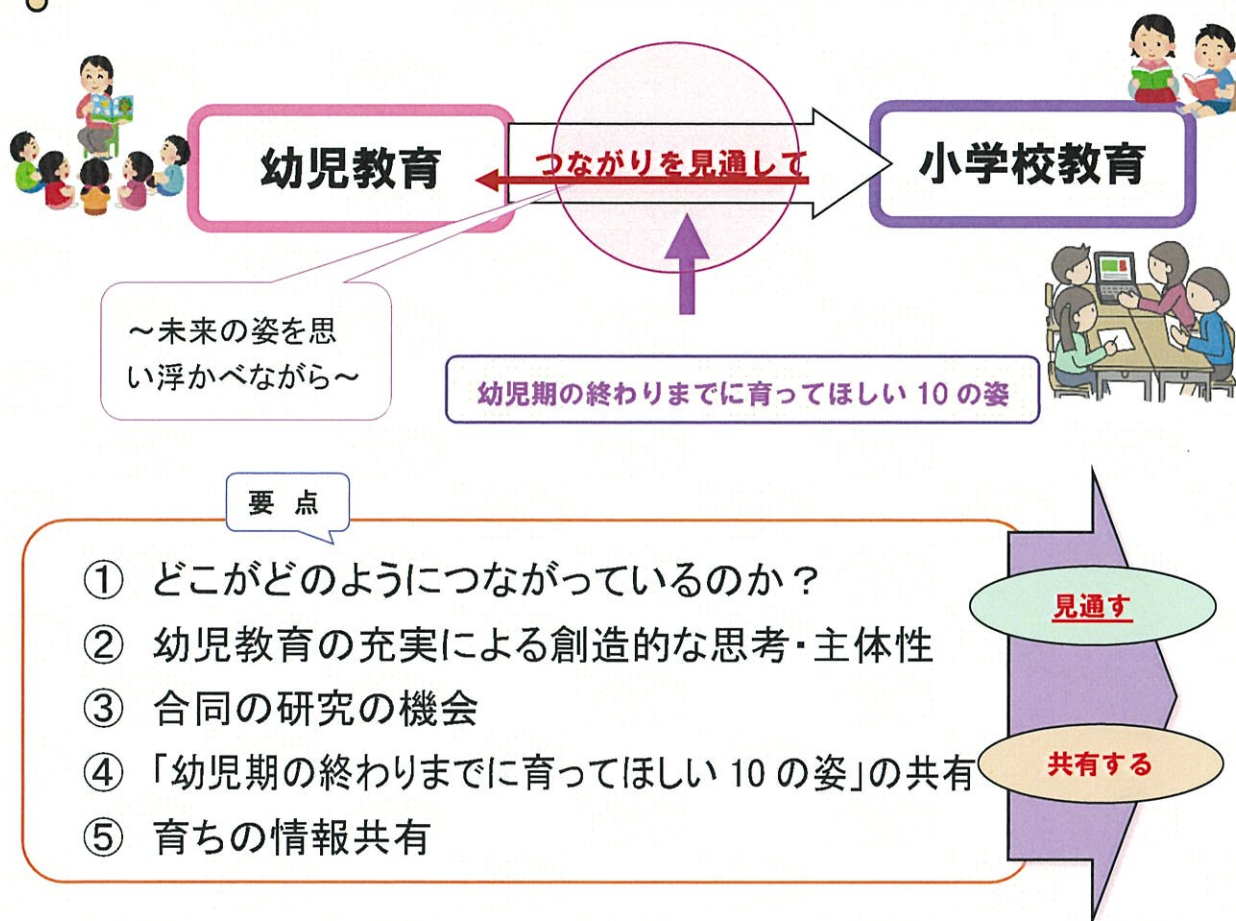
さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

「接続と連携」
のポイント



保育所からの接続のポイントについて「保育所保育指針解説」から



◆『保育所保育指針解説』より抜粋（厚生労働省編）

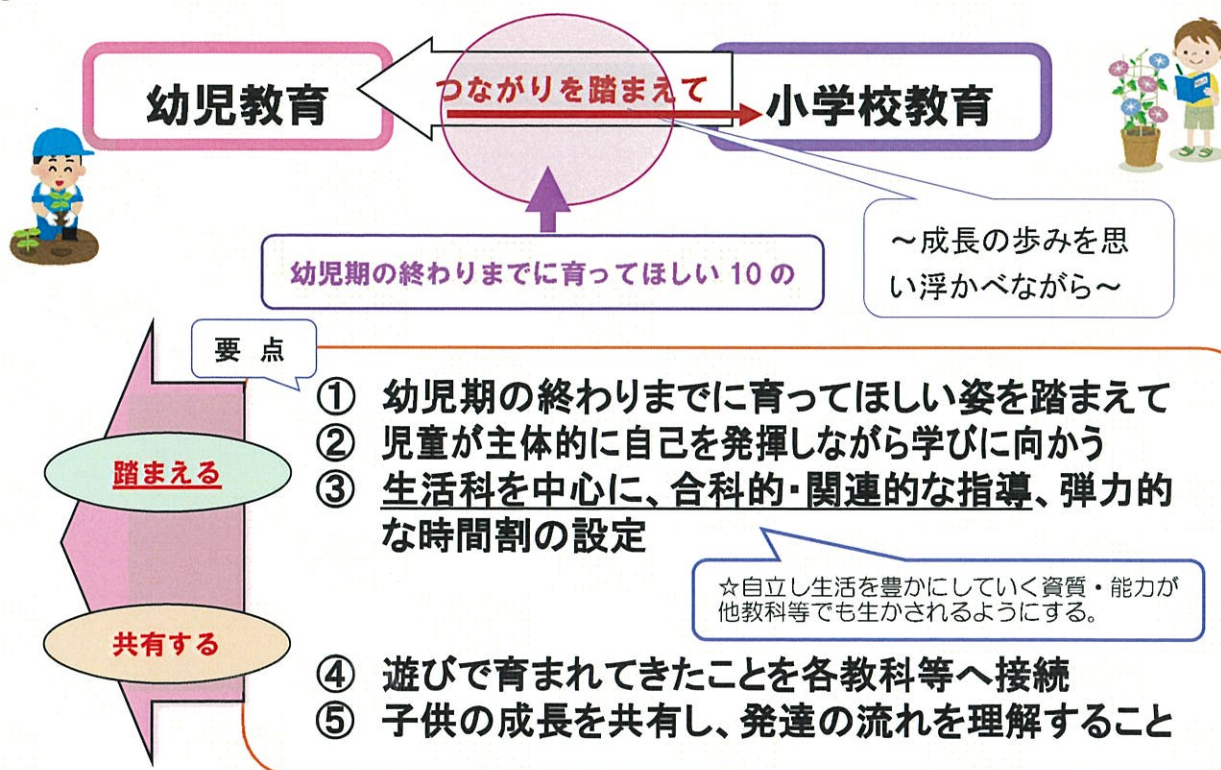
ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。

イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の（2）に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。

ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

（『保育所保育指針解説』 第2章 4(2)小学校との連携アイウ pp.288－292）

小学校への接続のポイントについて「学習指導要領」から



◆『小学校学習指導要領総則編』より抜粋（文部科学省編）

- (1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

（中略）

この幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに幼稚園の教師等と子供の成長を共有することを通して、幼児期から児童期への発達の流れを理解することが大切である。

小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが重要である。

（『小学校学習指導要領 総則編』（学校段階等間の接続）第2の4の（1）
 幼児期の教育との接続及び低学年における教育全体の充実 pp.73-74）

保育所での実践では

ポイントの詳細は、「解説版」の本編を御覧ください。

保育所の実践

考えさせて



主体的に 聞く・関わる



選ばせて

自分たちで行動

☆散歩や戸外での活動を通して生き物に触れたり、調べたりする。

◎季節を感じながら、公園や堤防などを散歩する～虫などの生き物探し、図鑑で調べる。草木の美しさや変化に感動する。季節の多様な命に触れる。



☆素材を生かした造形 ～ 素材を組み合わせ、感じたことや想像したことを表現しようとする。

◎素材の感触や色、光沢、形やなど手指の感覚や見た目を味わわせながら、様々な組み合わせの工夫や、切り貼りの楽しさ、造形の面白さを共感しながら味わえるように声かけをする。



小学校での実践では

実践の視点整理

視点①「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「資質・能力」を踏まえた「児童観」を描いて、教育活動を実施する

何を、どの観点で「踏まえるのか」？

「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」を手掛かりに、幼児期の教育を通した子どもの育ちや発達を十分押さえた上で、「児童観」を描き、その力が生きる（活かせる）授業や活動を構想する。子どもたちが幼児期にどんな力を育んできたかといった面～「**経験**」、「**発達**」、「**特長(特性)**」を十分に踏まえ、実践に際しての基盤である「児童観」として役立てられる。

児童観(3つの観点)
として踏まえる

架け橋期のカリキュラム（アプローチカリキュラム）を活用

「**経験**」を踏まえる → 幼児期の**活動体験・経験**を生かす。振り返らせる。【**前経験を生かす**】
「**発達**」を踏まえる → 「**今できていること**」押さえる。【**発達の段階を捉え、連続させる**】
「**特長**」を踏まえる → 「**遊びや学びのプロセス**」を活用する。【**学びの特長を生かす**】

実践に際し

これを架け橋期の特性を指導構想と指導計画に反映し、実践に活用する

●遊びや学びのプロセスで発揮される力とは？

- 自発性の発揮
- 試行錯誤
- 新しい考えを生み出す喜び
- 見立てる、構成する
- 諸感覚を発揮する
- 興味・関心・好奇心・探究心
- 予想、予測、比較、分類
- 発見・表現の喜び
- 体を十分に使う
- など

将来、どんな職業にどの資質・能力が生かされるでしょうか？

自ら探求し、発見する



好奇心・意欲、興味・関心が高く、これまでの知識を試したい時期

架け橋期の子どもの特長とは？

- ❖ 好奇心・意欲、興味・関心
- ❖ 感触・感覚・感動
- ❖ 試行錯誤 気付き・発見の喜び
- ❖ 予想・予測・比較 分類・確認
- ❖ 規則性・法則性・関連性等の発見と活用

感性と認知の
バランスの良い発達
が大切

「おもしろそう。やってみたい！」
「すごいなあ きれいだなあ ○○だね」
「なぜ・どうして どうなるのかな・見付けた」
「○○かもしれない・○○になりそう ○○
は同じだけれど△△は違う」
「○○だから△△になった ○○なのは
△△だから△△」
「すると○○になりそう 次に○○するとどう
なるかな」

〔参考〕「アクティブ・ラーニングの三つの視点を踏まえた、幼児教育における学びの過程（5歳児後半の時期）のイメージ」 幼児教育
部会における審議の取りまとめ H28 ほか

【実践例】 ～前経験を生かしたカリキュラムの実践～

○架け橋期のスタートカリキュラム「当番」⑥②

○単元 生活科「がっこうの せいかつ」＋道徳「がっこう だいすき」
（＋学活「学級の生活」）

○ねらい これまでの学び（前経験や知識）を振り返らせ、整理し、再構成させる
→「今までとは違うけど、これならできそうだ」といった理解をしながら
の接続

導入 発問例：「保育所では、どんなお当番をやってきたかな？」

資質・能力の発揮：「言葉による伝え合い」「自立心」「協同性」など「責任感や助け
合い・協力する力」が発揮された実践となった。



「保育所ではどんな『お当番』をやっ
たことがありますか？」

～保育所時代を振り返って、学級に必要な
ことを考えます。

「質問はありますか？」



「たいいくとうばんは
どんなことをやるんです
か？」

子どもたちみんなの素敵な「譲り
合い」や「応援」「励まし」が一
杯見られました。



「これなら きっと ぼくも
できそうだな・・・。」

「これやってみようか
な？」「いいね」「じゃあほ
くこっちをやる」

視点② 主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となる教育活動

【実践例】 ～子どもの「やってみたい！」を大切にした授業～

○「生活科＋図画工作」

- ・「学校探検」～学校を探検し、自分自信が見つけたものを描き、発表する。
音楽室のベートーヴェン、理科室のメダカ、大太鼓など初めて見るものを見出し、「これなんだろう？」といった新たな環境との出会いと発見が非常に多く見られた。

○「生活科＋国語科（＋算数科）」

○1・2年生国語 架け橋カリキュラム①

読もう～聞いて、感じて、伝えよう

○単元「はるがきた」～「おはなし ききたいな」

子ども自身が選んだ「読んでもらいたい本」の中から、絵本を選び、読み聞かせ、子どもは興味を持って楽しく愉快地、一心に聴き入っていた。

時折先生の「どうしてだろう？」「なんだろう？」「これ知っている？」などのやり取りがあり、子どもはお話を身近に感じながら展開や繰り返す言葉の面白さに気付くことができました。

1対1のやり取りですが、「お話の楽しさ」を子どもと共有することで、これからの国語科の学習の大切な土台作りの時間となった。



また、「好きな本を10冊選ぼう！」の活動では、〇〇さんは初めての図書室との出会い、本との出会いに、足取りも軽やかで、わくわくが隠せませんでした。

「本が大好き！」という〇〇さんの特長が生きて、わくわくしながらあっという間に10冊を選びました。「この本のここが好き」ということも意識しながら、〇〇先生に一生懸命にお話ししながら選ぶことができました。

また先生による「あと何冊？」の問いかけは合科的なアプローチで、時機を得て効果的であった。

○「国語科」

- ・「よくきいて はなそう」～自分が友達に訊きたいテーマを考えさせ、伝え合う活動。お互いの児童がわくわく感を大いに持って活動に取り組む姿が観られた。

○「体育科」

- ・保育所時代に何度も親しんだ鬼遊びを体育館いっぱいを使って、思いっきり楽しんだ。

「次はどんな鬼遊びをやってみる？」

「いろおにやりたい！」など子ども達は自分の思いを存分に発揮しながら、「バランス」「移動」など巧みに、また体をいっぱいを使って運動遊びに取り組む姿が見られた。



視点③ 生活科を中心とした、合科的・関連的な指導、弾力的な時間割の設定

【実践例】～合科的・関連的な指導～

※前掲の実践の他にも以下のような合科的・関連的な指導実践が行われた。

○「生活科＋図画工作＋国語科」

「学校探検」で見つけたものを発表する活動



メダカを みつけました。キラキラしていて かいたいとおもいました。



わたしは おおだいを みつけました。たたいてみたいとおもいました。

わたしは えを みつけました。ベートーヴェンといいます。おんがくしつで みつけました。



視点④ 幼児期に育んだ「遊びと学びのプロセス」を各教科へ接続する

【実践例】～課題設定の工夫～

- ・手引きp43「先生の関わり」
- ・さろまっ子架け橋期のカリキュラム⑥⑥、⑥⑦、⑥⑧ に関わる実践例

主体的に自己の「よさ」を
発揮できるような工夫

導入発問例：・「〇〇の？を見つけてみよう」（生活科「学校探検」）

- ・「どんな草花があるだろうか？」（生活科）
- ・「みんなはどう感じたかな？」（学活）
- ・「どうしてだろう？どう思う？」（各教科）

※ここで見られた工夫は、子どもを「自立した学習者」として、自己決定・協働ができるように支援していること。子どもに考えさせ、教師が「伴走者」として関わるアプローチが多く見られた。

○「遊びや学びのプロセス」（前掲）が授業活動の中で、生かされることが大事！

カリキュラム実践の概要2 ～保小の交流活動～

(1) 7月の交流活動（小学校から保育所への訪問及び生活科の学習）

① 佐呂間小学校と佐呂間保育所の交流及び生活科の学習

【実施学年】 佐呂間小学校 1 学年 14 名 佐呂間保育所きりん組 幼児 26 名

【実施日】 7月12日（金） 2～3 校時

【日程】

9:25 佐呂間小出発 徒歩

9:45 小公園(0.9Km)着 ～10:10 生活科「なつを かんじよう」

①休憩・水飲みトイレ ②小公園を散策(15～20 分) ③保育所へ移動

10:15 保育所 ① 挨拶
② 交流活動(20 分)*1・お礼の言葉や感想 5 分
③ 挨拶

10:50 終了

バス乗車

11:00 佐呂間小 着



② 若佐小学校と若佐保育所の交流及び生活科の学習

【実施学年】 若佐小学校 1・2 学年 3 名 若佐保育所 幼児 5 名

【実施日】 7月16日(火) 2～3 校時

【日程】 9:25 若佐小出発 (2～3校時目) 徒歩

9:35 自然観察(保育所付近) ～10:00 生活科「なつ」をみつけよう
移動

10:00 保育所 ① 挨拶

② 小学校の様子を紹介 ～ 小学校児童

③ 交流活動

レクリエーション1 (15分) ～ 小学校 OO先生

レクリエーション2 (15分) ～ 保育所 OO先生

④ 記念撮影

⑤ お礼の言葉 ～ 小学校児童代表

⑥ 挨拶

10:40 終了

10:50 若佐小 着



③ 浜佐呂間小学校と浜佐呂間保育所の交流及び読み聞かせ

【実施学年】 浜佐呂間小学校 2 学年 3 名 浜佐呂間保育所 幼児 7 名

【実施日】 7月22日(月) 2～3 校時

【日程】 9:25 浜佐呂間小出発 (2校時目) 徒歩→

9:35 佐呂間保育所着

9:35 保育所(お遊戯室)

① 挨拶

② ☆「読み聞かせ」(国語科「スイミー」)(10分)～小学校
☆みんなでゲーム(15分)～保育所

③ 記念撮影

④ 挨拶

10:05 終了

10:15 浜佐呂間小学校 着

* 交流活動の内容については、保育所と小学校の先生にアイデアをいただき計画する。



10:05 終了

10:15 浜佐呂間小学校 着

* 交流活動の内容については、保育所と小学校の先生にアイデアをいただき計画する。



ひさしぶりに会った保育所の先生から「大きくなったね」と言われて、うれしかったです。(2年生児童の感想より)

(2) 9月の交流活動 (保育所幼児が小学校へ訪問)

佐呂間小学校と佐呂間保育所の交流 (9月6日)

生活科で「たのしい おべんきょうかいを ひらこう!」をテーマに1年生のみんなが素敵な先生役になりました!!

よろしくお願いします!

1年生からの挨拶です。

みんながワクワクできるように、たくさんの遊びを考えました。

がんばって!

とべた〜!

いっしょに手拍子でリズムを打てみましょう!

こんな かんじかな?!

このリズムだよ!

こちらのコーナーへどうぞ!!

とても楽しかったです!

また来ます!

待ってるよ〜!

今日はありがとう。笑顔でポーズ!!

若佐小学校と若佐保育所の交流 (9月12日)

外国語の活動の後は外遊びでいっぱい交流しました!

待ってたよ!

みんな元気だった?

What color is this?

Yellow!!

きっと Red!!

Jump!!

カブトムシね 育ったよ!

わー。うこいてる。

ドキドキ!

みんなありがとうー!

さようなら。また来てね〜!

できた!

いっしょにあそぶのひさしぶりだね

浜佐呂間小学校と浜佐呂間保育所の交流（9月26日）

オールイングリッシュで勉強しました。その後校内探検へ出発！



来年もよろしくお願いします!!

架け橋期の授業実践ダイジェスト



「生活科学学校探検」の活動～「よろしく おねがいします。」
学校のいろいろな先生に名刺を渡して自己紹介をします。立派に自分のことを伝えられました。【生活科】

言葉による伝え合い



「言えるかな～？」
「写真が一杯ある！」



「じどうしゃ ずかん」の活動
～ドキドキしながら入室。
校長先生に調べたことを一生懸命に説明します。【国語科】



「一人部屋にやってきて、全部で5人になりました。」
上手に説明してくれました。【算数科】



くまさんがね、たねをすっ
とおとしてきて はなのみち
になりました。【国語科】

「トマトは動物です」

「じゃあ、みんなで正しい文を考えてみよう」
「ノートに書いてね。」



「え～、ちがうよー！！」

「それなら、できる！」

言葉による伝え合い

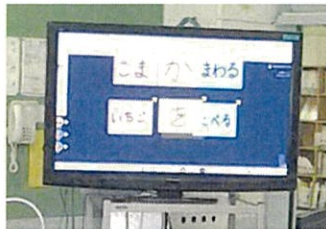
思考力の芽生

❖ 比較する力～2者、3者を比較して正誤を考える
子どもの認知の調節作用

→ 「認知の不協和」から正しい枠組み（シエマ）へと言葉を弁別しながら再「調節」しようという強い動機が生まれます。



「ちゃんと持って、上手に書けました」
最初は6B、4B、公文式の鉛筆なども
【書写～全教科】



❖ 幼児期に、潜在的な「暗黙知」だった言葉の仕組みへの感覚が、視覚補助によって構造化され「概念知」へとなっています。

「学びの芽」から「自覚的な学び」へ

視覚によって、言葉の仕組みに気付いていきます。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

一緒に数えて、確認し合って、「あってるね！」
数え方に自信が付きました。【算数科】



自然との関わり・生命尊重

思考力の芽生え



思い思いのシャボン玉リングを作り、いろいろなシャボン玉を作ってみました。

形、風向き、シャボン液の付け方など考えて、何度も試してチャレンジしました
【生活科】



先生の関わり



学級でのみんなの頑張りを励まし、ガラス瓶にきらきらポイントがたまっていきます
【学級活動】

佐呂間町の保小連携のデザイン

佐呂間町の取組

方針

佐呂間町「教育行政推進方針」

「0歳から18歳までを見通した教育」をめざして

佐呂間版架け橋プログラムテーマ【コアイメージ】

さろまっこを つなぐ、ともにはぐくみ・いかし合う

「さこっと」

こどもの「育ちをつなげる架け橋プログラム」を立場や施設の類型を超えて、佐呂間町の大人が協働して作っていく

つなぐ :



- ① こどもの教育をより良くつなぎ、橋渡しする。(同じ子どもに関わる)
- ② 保小が互いにより良く知り合い、信頼を築いていく。

ともに育み・ :

- ① 保小・保護者・地域や町が一体となって、子どもたちを共に育てる。
- ② 交流を通して子供たちが安心して育ち、学べる環境を共につくる。

生かし合う :

- ① 互いの教育情報・スキル（良いところ）を生かし合う。
- ② 互いの人・環境を生かし合う。

0～18歳の学びの連続を目指したデザイン

佐呂間町全体として
の子ども姿へ

佐呂間町小中一貫教育 グランドデザイン（案）

佐呂間町の教育目標

自ら学び ともに磨き合い 広い心と生きがいを持ち ふるさとを愛する たくましいサロマ人

- 1 自ら学び 想像力のある人に
- 2 郷土を愛し 豊かな心を持つ人に
- 3 進んで働き 最後までやり抜く人に
- 4 生命を尊び 明るくたくましい人に

思いを伝え合い
豊かな未来を創る子

育てたいさるまっ子の姿

健康な心と体を持ち
やり逃げられる子

認め合い
励まし合える子

15歳の姿（佐呂間中学校の教育目標）

ともに磨き合い たくましく生きる人をはぐくむ

*進んで学ぶ生徒 *思いやりがある生徒 *たくましい生徒

12歳の姿

若佐小学校の教育目標

考える子
助け合う子
強い体の子

佐呂間小学校の教育目標

すすんでまなぶ子
たすけあうやさしい子
げんきでたくましい子

浜佐呂間小学校の教育目標

学ぶ子
心豊かな子
健やかな子

義務教育9年間をつなげる小中一貫教育

佐呂間町の小中一貫教育の取組

1 学習指導

- ① 9年間を通じた教育課程の編成
- ② 小学校における一部教科担任制
- ③ 算数・数学、外国語活動・外国語を重点教科とした中学校から小学校への乗り入れによる巡回指導
- ④ タブレット端末・電子黒板などのICTを活用した授業

2 生徒指導

- ① 異学年による教育活動
- ② 中1ギャップの防止
- ③ いじめ防止対策・不登校対策

3 ふるさと教育「サロマ学（仮称）」

- ① 生活科・総合的な学習の時間における佐呂間の産業・自然・文化などの学習の充実
- ② 地域の方々をゲストに招いた学習
- ③ 地域の産業・自然・文化の体験型授業

4 特別支援教育

- ① 特別支援教育連携協議会を中心とした保・小・中・高の連携
- ② 佐呂間小学校に通級指導教室担当教員を配置した巡回型通級指導教室

9年間の学びと育ちをつなぐ5つの視点

視点1 目標をつなぐ

- ・小中一貫教育の目指す子ども像の設定
- ・グランドデザインの作成

視点2 学びをつなぐ

- ・9年間を通じた教育課程の編成
- ・指導方法の工夫改善
- ・学習規律、家庭学習等の主体的に学ぶ環境づくり

視点3 子どもたちの心をつなぐ

- ・小学校間での交流、学習する場・機会の設定
- ・小中学校間での交流
- ・小学校から中学校への円滑な接続

視点4 教職員をつなぐ

- ・小中学校間で共通理解を図る取組
- ・学校教育運営協議会での定期的な協議

視点5 家庭・地域との絆をつなぐ

- ・学校評価項目の共通化
- ・小中一貫校としての学校運営協議会（CS）

幼保小の架け橋プログラムについて（『手引き』抜粋・要約）

- 義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期（「架け橋期」）
- 子供の成長を切れ目なく支える観点からは、幼保小の円滑な接続をより一層意識し、乳児や幼児それぞれの特性など発達段階を踏まえ、一人一人の多様性や0～18歳の学びの連続性に配慮しつつ、教育の内容や方法を工夫することが重要
- 子供一人一人が、将来、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにするためには、幼児期の3要領・指針や小学校の学習指導要領の理念をより徹底し、充実した教育を、「架け橋期」とそれにつながる時期、さらにその後の時期を通じて目指していくことが求められます。
- 「幼保小の架け橋プログラム」は、子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。（『幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初

（5）架け橋期の学びや生活に関する視点について（『手引き』抜粋・要約）

- 架け橋期を通じて、未来を担う子供に学びや生活の基盤を育み、持続可能な社会の創り手となることができる力の基礎を育むことを目指す。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について

到達目標ではなく、育ち行く姿の方向性を示すもの（「審議まとめ」p8）

 - *子供に資質・能力が育まれていく過程で見られる生活の姿を総合的に示したもの
 - *一人一人の子供の様子を見定めていくことを通じて、子供の学びや生活の質を捉え、資質・能力がどのように育ってきているかを見出し、子供の実態に沿って主体的・対話的で深い学びの充実を図るようにするために必要な手掛かりとして活かすことができるもの
 - *ここで示されている姿は、架け橋期はもとより、その前の時期、さらにその後の学びのプロセスの基盤となっていく

- 特別な配慮を必要とする子供を含む全ての子供の可能性を引き出すため、**ウェルビーイング^{※1}を保障する意識**が大切



（『幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）』 p.5）

※1「学習者視点に立ち、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出され、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイングが実現されるように、制度等の在り方を考えていく必要があります。これは幼児教育から高等教育まで一貫して追求しなければならぬ目標です。」とされています。（「次期教育振興基本計画の策定について（諮問）」（令和4年2月7日））

カリキュラム開発の全体のプロセス 及びカリキュラム作成に当たってのコーディネーターの視点

カリキュラム開発会議資料より

I カリキュラム開発の全体のプロセス

1 カリキュラム作成に当たって

さろまっ子架け橋カリキュラムの開発に当たって、7月に開催された第1回開発会議においてご確認いただきました以下の点を重点としてワーキンググループで協議を進め、カリキュラムを作成中です。今回はその「中間まとめ」となります。

- (1)「さこっと」(さろまっ子をつなぐ、ともに育み・生かし合う)の目的が生きるように作成する。
- (2)佐呂間町の幼児と児童の「資質・能力」をつなぎ、見える架け橋期のカリキュラムを作成する。(第1回開発会議資料2-1・2、資料5)
- (3)「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をカリキュラム開発共通の視点として、さらに、さろまっ子プラスワンの力として「豊かなコミュニケーションの力」の育ちを明らかにする。

2 カリキュラム開発の主な手順

- (1) ワーキンググループを通して、幼児と児童の資質・能力を参観し、ワークショップ、協議を通して見えるようにする。
- (2)アプローチカリキュラムについては、各保育所の保育の実際、年間計画等、保育所保育指針を土台に、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を加えて作成した。
- (3)スタートカリキュラムについては、各小学校の教育の実際、年間指導計画、経営方針を土台に、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の育ちが生きるよう作成した。
育ちを生かす視点としては、文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)」(pp36~37)を以下のように参考にした。

- 周囲の環境に主体的に関わる力 「考えよう」「～しよう、～してみよう」「身の回り」
- 興味・関心・意欲・好奇心 「好きな」「楽しもう」「喜び」
- 探求・発見・試す力・疑問 「一杯探そう」「想像を広げて」「なぜだろう？」
- 協同性・共感する力 「一緒に～しよう」「話し合おう」
- 心動かす体験・諸感覚 「体一杯」

Ⅱ カリキュラム作成に当たってのコーディネーターの視点

第4回ワーキンググループ配布資料 2023/12月
「さろまっ子虹の架け橋カリキュラム」の見方・考え方

0 はじめに

(1)「架け橋プログラム」のねらいとして、

- ① 幼児期から児童期へのより豊かな遊びや学びの接続の架け橋
- ② 子ども達の安心・安全な生活の架け橋(心の安心基地づくり)

を基本に据えてカリキュラムづくりにご協力頂いています。

次年度から、「さろまっ子架け橋カリキュラム」を各保育所、小学校で意識しながら日々の教育活動に取り組んでいただけるよう、ここまで委員の皆様のご意見を沢山頂きました。

(2)「架け橋カリキュラム」の実践・活用(来年度)に関して

架け橋期の子どもたちの育ち*を活かす観点で、

- ① アプローチカリキュラムを、保育所は「振り返る」、小学校は「踏まえ、活かす」
- ② スタートカリキュラムを、保育所は「見通す」、小学校は「振り返る」

育ち*～「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を幼児観、児童観として描いて、保育所でも、小学校でも活かせるように各期の指導計画を整備ください。

1 育てたいさろまっ子の姿

ワーキンググループで出された意見と各保育所、小学校の経営方針を照らしながら「知・徳・体」の3つの分野に分けてまとめました。

2 ねらい 各期に予想される子どもの姿(保育所)

保育所の年間指導計画から抜粋し記載しました。特に「概要版」は要約してあります。

3 学ぶ力・生きる力・人と関わる力

* 保小どちらも、各期の項目を **活動内容+資質・能力** の形で表の整理をしました。

【保育所】「言葉」「環境」「表現」「健康」「人間関係」+行事

ワーキンググループで出された意見、保育の実践(参観)、保育所の年間指導計画・月案・週案を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」+「保育所保育指針」の視点から整理しました。

【小学校】「各教科」+行事

各教科の年間指導計画(令和6年度からの新しい教科書に準拠)をベースに、各時期のピークになる活動や、資質・能力を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関わりにおいて整理しました。

特に、「生活科を中心とした合科的・関連的な指導」については各教科の活動との関連で★印で表しています。またこの指導に際しての「弾力的な時間割の設定」については、例示として4月当初4週間の時間割の中で示すことにします。*¹

なお、算数科、生活科については単元を重視するため、できるだけ学習時期が教科書と合致するように配置しています。(参考「生活科年間指導計画」)

4 遊びや学び共通のプロセス

架け橋期の子ども共通に持っている「自発性や興味・関心、好奇心」を生かした主体的な学びを、遊びや学びの場面で生かすことを重視します。

5 指導上の配慮事項

(1) 先生の関わり(通年)

架け橋期の子ども達に保育所と小学校で共通で取り組める関わりの在り方について整理しました。ワーキンググループで出された意見、架け橋プログラム「手引き」、保育所指針、学習指導要領等を参考に整理しました。

(2) 環境構成

ワーキンググループで出された意見、架け橋プログラム「手引き」、保育所指針、学習指導要領等を参考に整理しました。

○アプローチカリキュラム(保育所)では、小学校入学をイメージしながら、幼児期にふさわしい育ちと学びを重視し、まとめました。

前期では「味わう・気付く・考えを出し合う」(理解・伝える)等の成長の姿を重点に、

後期では「想像する・工夫する・話し合う・協力して創る(発信・伝え合う)」等、前期より一歩踏み込んだ成長の姿を重点に置きたいと考えます。

○スタートカリキュラムではスタート期に生活と学び方の面で、段差をできるだけ少なく、安心して学校生活をスタートさせ徐々に慣れて行けるような配慮*2を環境構成として検討したいと考えます。

6 保小の交流活動

日常の「遊び」などを中心とした子ども同士のふれあい交流を園外活動の延長でご検討いただければと考えます。

(早い段階で小学校の環境に触れて「なじみ」を得ておくことが、子ども達の役に立つと考えます。)

7 家庭や地域との連携

ワーキンググループで出された意見、架け橋プログラム「手引き」、保育所指針、学習指導要領などを参考に整理しました。

なお、当初の表から「関係部局との連携」については割愛し、全体計画の中で進めているところです。

*1 「生活科を中心とした合科的・関連的な指導」「弾力的な時間割の設定」については学習指導要領総則編 p 7 2, pp 7 3～7 4をご参照ください。

*2 小学校入学時期の「戸惑いや悩み」について(「審議まとめ」p 6)

全国的には小学校低学年時期での不登校児童について早い段階での支援が必要と指摘されています。不登校に関する調査研究協力者会議「報告書」(令和4年 6月)では、「子どもの発達や学びが連続するよう、幼児教育施設と小学校の教職員が教育課程編成・指導計画作成等を工夫するとともに、子どもが抱えている課題、学習や生活で感じている困難さについて早期に把握し、支援につなげていく必要がある。」と指摘されているところです。

研修フォローアップ資料 佐呂間町保小合同研修会

2025 年 1 月 21 日(火)

(佐呂間町教育委員会保小連携コーディネーター 菅原)

先週は保小合同研修会にご参加いただきありがとうございました。ご協力により、とても充実した中身の研修になりました。心から感謝申し上げます。

今回各グループから出されましたご意見の中に、子どもたちを「育む」上で、貴重な気づきが沢山ありましたので、振り返りたいと思います。また、グーグルフォームで研修アンケートを作りましたので、ご回答やご感想などをお願いいたします。

1 研修アンケート(※5分ほどご協力をお願いいたします！)

右のQRコードから入っていただきをお願いします。

*今週の24日金曜日までにお願いいたします。



2 研修の振り返り

今回の研修では皆さんが「日頃大切にされている子どもへの関わり方」(ピンクの付箋)と「その理由(先生方の願い)」(黄色の付箋)を書いていただきました。どのご意見も、日常の実践が背景にあり「今を振り返り、明日に生きる」ととても大切な関わり方でしたので、共有したいと思います。

A グループのまとめから【抜粋】

グループのまとめ

自分で考える

待つ

思いを知る

声かけの種類やタイミング

ポイント

○子どもの思いを大切に

○できていること・できていないこと(見極め)

○大人が手出し・口出ししすぎないこと

○やってみたいを大切に

○失敗してもいい環境 ○保育所でやっていたことを小学校で引き出す

○一緒に遊んだり、会話を楽しむ。～今興味を持っていることを知り、計画に生かす。

○子どもどうしに任せ、経験値を高める・考えさせる・教師が手を出しすぎない～問題や課題を「自分ごと」にする。○子どもが判断して行い良い結果になったときに、どのような考えで行動したのか質問し、ほめる～成功体験を強化する、評価することでその後主体的に。○子ども自身が「判断・選択」する機会～その体験の積み重ねが大切。選択肢を徐々に増やす。

○大人が先回りをしない～自分で考えないで「指示待ち」の子に育ってしまわないように。他

B グループのまとめから【抜粋】

グループのまとめ

自主性・自己選択

教師の声かけ

言葉による伝え合い

遊び・環境～安心・社会性

○自己決定の機会・場面を多くする ～・自分で決めたり、考えたりしたことが(他者と合意形成しながら)実現できる事を体験。・人生や進路を主体的に選択できる力を付ける。・お楽しみ会何する? ○友達の考えにたくさん触れる場面を設定する～自分の考えをより良いものにしようとする力を育てたい。学習場面 ○子ども自身で考えること～・すぐ答えを言うのではなく、経験や思いを大切にするため・自分の力で達成ができるように学習内容を工夫する。

○苦手と思っていることにも挑戦する気持ち～やってみよう!!という気持ちを持たせる。

○屋外活動を体験する～畑作業や虫取りなどを体験し季節を感じる。多種の玩具を見やすく配置～自分たちで整理整頓出来るように。遊びを自己選択できる環境。 他

C グループのまとめから【抜粋】

グループのまとめ

子どもを待つこと

子どもへの言葉かけ

子どもの体験活動

むやみにほめない

何が良かったかを伝える

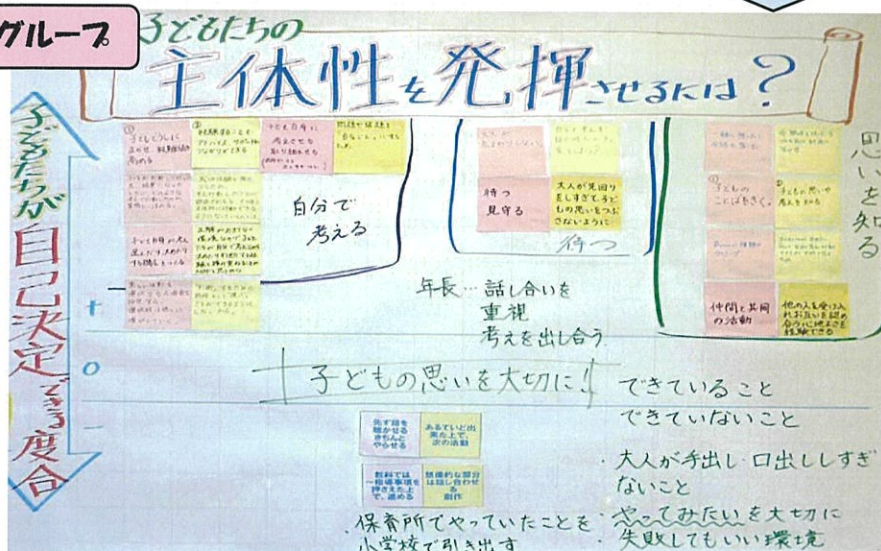
○大人が先回りせず待つこと ～○必要なときはいつでも手を差し伸べられるようにしておく～大人の見守りの中で自分で出来たという経験・達成感を積み重ねることが主体性につながる。○できるだけ見守る。任せる～考えを押しつけない。子どもの考えや、やる気を大切にすること。○子どもの話をゆっくりと聞いてあげること～発達がゆっくりと成長している子どもは、話し始めるまでの思考整理もゆっくりペースのことが多いから。○児童の行動に対して初めから否定や答えを出さない～その子の行動の意図をくみ取り、良さを見出すことが大切。

学習・活動場面～○児童が活動できる場面を多くする。～自ら考えて行動する中で、成長させたい。○「やってみたい!」と思える様な活動、思わせられるような言葉かけ～意欲を持って取り組むことで、さらに力を高められる。○色々なものに触れる機会を作る～視覚・触覚を含め体験・経験する～言葉だけではイメージできないことが多いから。○むやみにほめず、ここぞという時、ちゃんと言葉で良かった事、出来たことを伝える。他

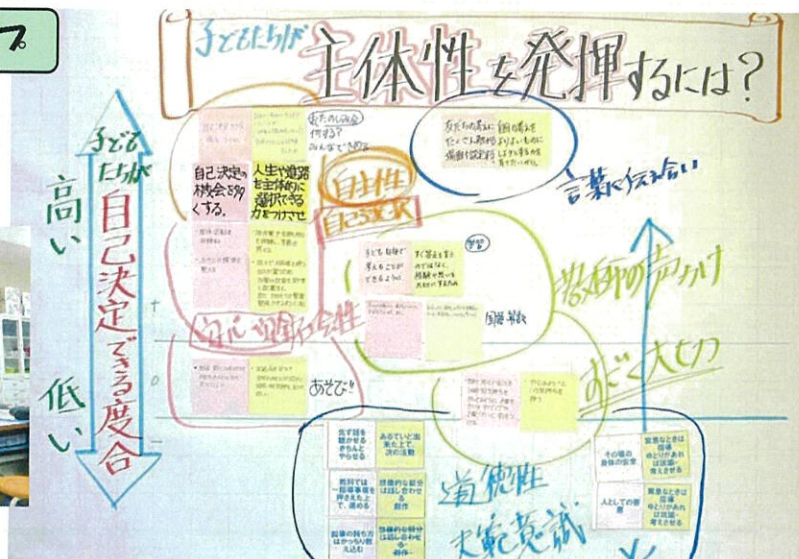


【今回の各グループのKJ法シート（まとめ）】です

Aグループ



Bグループ





ワークショップのテーマについて

幼児教育と小学校教育の接続について「児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるように」（小学校学習指導要領総則編）と示されています。また、「幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う」「主体的な活動」（保育所保育指針解説）の重要性について書かれています。

こうした「主体的な活動」や「主体的・対話的で深い学び」がこれからの日本だけではなく世界の保育・教育で一層大切だとされている背景には、時代の激変があります。

そうしたことから今回のワークショップではそうした「子どもの主体性を生かす関わり」にテーマを絞って皆さんとご一緒に考えてみました。

（※今一度「指針と要領」を読み返したところ「主体性」という文言がありました。説明の中では誤ってお伝えしましたので、お詫びして訂正いたします。）

今回のワークショップでは実に多く、子どもへの効果的な「関わり」について、ご参加の皆さんからご意見が出ましたので、ぜひ今後の保育・教育実践に生かしていただければ幸いです。

「時間が許せば、『どの場面で』というところまで交流できれば」と予定しましたが時間が足りず、申し訳ありませんでした。関連する事項が当日資料の一番最後のページにありますので、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に関連して、ぜひ今後の研修テーマとしてご活用ください。

今回の研修でのポイント

1 「足場かけ」と「啐啄同時」（そったくどうじ）

先生方の協議の中で、「声かけ」「タイミング」という言葉がいくつかのグループでありました。そして、「先回りしない」事の大切さについても多くの先生方が仰られていました。子ども達の健やかな自立を促すためにも非常に大事な関わりですが、その一つの糸口に「足場かけ」と「啐啄同時」（そったくどうじ）というキーワードがあります。

「足場かけ」

保育、教育の先生方のご承知の方が多いかと思いますが、発達の流れやレディネスを捉えながら「子どもだけではまだできないことでも、ヒントなどを示されたりすると出来るようになること」を「足場かけ」*1と言いますが、そのポイントは、（１）子どもが「一歩上」（発達の



最近接領域)のことに取り組めるサポートであること。(2)「一時的」なサポートとなるように。(3)「見通し」を持たせること 等が挙げられると思います。そして、先生方からの付箋にあったように「先回りしない(し過ぎない)」ことが大切で、子ども自身の「気付き」で、できるだけ次に独り立ち(自立)出来るように関わることが大切だと言えそうです。

「啐啄同時」(そったくどうじ)

鳥の雛が卵の中から殻を破ろうと、内側からコツコツとつつくこと(啐そつ)と、親鳥が外から殻をコツコツとつつくこと(啄たたく)が一致して雛が「自分の生まれようとする絶好の機会を言い表した禅語で、古くから教育の本質を言い表す言葉とされてきたものです。



「タイミング」の大切さはここでも重要ですが、必要ないつでもヒントを示せる構えを持つために「見守る」「待つ」ということが肝要になります。架け橋期のカリキュラムの中でもここを関わりの大切なポイントとして押さえたいところです。

2 「自己決定」の場面づくり

自由保育や図画工作、生活科など自由度の高い授業活動などでは、「自己決定」や「創造性」を発揮しやすい主体的な選択場面が豊富に設定できます。(何をするか?≒「目的選択主体性」)

また、一斉保育や教科の授業活動などでは、テーマへの動機付けを工夫したあと、テーマに向かって行く「方法」を自己選択させる場面づくり^{*2}が大切です。そのように子どもが主体的に自分を表現できる場面が、今回の架け橋期のカリキュラム実践でも、佐呂間町内の各施設で多くの先生方が素晴らしい実践を見せてくださいました。



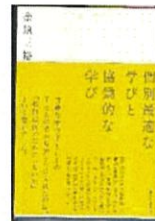
(※詳しくは架け橋期のカリキュラム「解説版」をご覧ください。)

3 ぜひ一読を！！

昨今の教育改革や、今回の架け橋プログラム事業の背景に関わる参考図書、先生方に一読いただきたいものを3冊ご紹介します。何かの機会にぜひ書店などにお立ち寄りください！！

- (1)「教えから学びへ」(汐見稔幸 著 河出新書刊)
- (2)子どもが中心の「共主体」の保育へ(大豆生田啓友 監修 小学館)
- (3)「個別最適な学びと協働的な学び」(奈須正裕 著 東洋館出版)

なお、架け橋期のカリキュラム実践に関わる参考資料は、「解説版」の中で改めてご紹介いたします。



^{*1}「足場かけ」(スキヤフォールディング) ブルーナー等

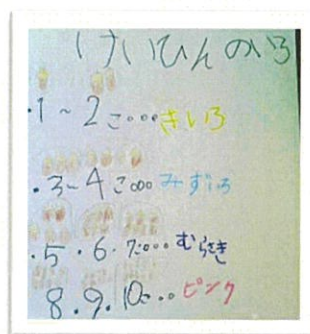
また、ブラウン等による「認知的徒弟制」は、①モデリング(見せる)②コーチング(コツを知らせる)③足場かけ(ちょっとだけヒントを示す)④フェーディング(消えていく。任せる。)という援助法です。最後は消えていくと見せながら陰から「見守る」「適切な評価」「任せてやらねば、人は育たず」ということが必要になると言えます。

^{*2}この場合の主体性の発揮は「エイジェント的主体性」と呼ばれています。

今回の研修会を契機に、次年度も各地区ごとのつながりを一層深めていただければと考えます。そして、佐呂間町の保小、小中、中高がそれぞれお互いをよりよく知り、それぞれの良さを生かし合って、18年間の学びを太くつないでいきたいものと願っています。

今後ともご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

参考資料



本文中の引用解説

* 1 (p3)

* 1 不登校に関する調査研究協力者会議「報告書～今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について～」(令和4年6月)では、「低学年の不登校児童生徒への支援については、幼稚園・保育所・認定こども園(以下『幼児教育施設』という。)における幼児教育から小学校教育との円滑な接続が重要である。」

「子どもの発達や学びが連続するよう、幼児教育施設と小学校の教職員が教育課程編成・指導計画作成等を工夫するとともに、子どもが抱えている課題、学習や生活で感じている困難さについて早期に把握し、支援につなげていく必要がある。」と報告されている。

なお、現在の不登校児童数の増加は、年々極めて深刻な状態で推移している。

* 1 「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について」幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～(令和5年2月27日 中央教育審議会初等中等教育審議会) p6より

【参考】「ペリー就学前プロジェクト」等の知見から、幼児期に主体的に、十分な遊びや、関わりを深める等この時期にふさわしい教育による良い効果が報告されています。現在 OECD 各国の標準になってきました。いわゆるIQで評価できない、以下のような非認知能力(社会情動的スキル)が大きく向上し、将来社会的な望ましい、健康で豊かな生活を享受し、活躍している割合が極めて高いという約40年という長い期間の研究成果です。

1 「次はうまくいく。大丈夫」 ～ 自信、セルフコントロール、楽観性

2 「仲間と協力しながら対話できる社会性がある」 ～ 協働性・協同性

3 「難しい課題をあきらめずにやり抜こうとする粘り強さ」～ グリット等が顕著に認められる

(参考)「幼児教育の経済学」(J・ヘックマン著 東洋経済新聞社) pp.29-35

「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 中間整理」文部科学省 令和6年8月 ほか

「幼児期・児童期の発達」の概要について

1. 乳幼児期(0～2歳)

● **主な特性:** 感覚と運動を通じた探索的学習。

* ピアジェの感覚運動期に該当します。この時期、子供は物事を具体的な感覚や動きで認識しますが、曖昧なものに対する弁別能力はまだ限られています。

* **比較と弁別の例:**

- 顔を見分ける: 親の顔と他者の顔を徐々に区別できるようになる。
- 簡単な物理的特徴: 異なる音や色、大きさの違いを感覚的に認識します。

2. 幼児期(2～6歳)

● **主な特性:** 言語と象徴的思考の発達。

* ピアジェの前操作期にあたります。この段階では、言語を用いて曖昧なものをラベル付けし、比較することで理解を深めます。ただし、具体的な論理的操作はまだ難しいです。

* **比較と弁別の例:**

- 形や色の分類: 異なる形のブロックを仕分けする。
- 実際の経験を伴う学び: 例えば、犬と猫を観察し、「四足で毛があるが異なる動物だ」と気づく。

3. 学童期・児童期(6～12歳)

● **主な特性:** 論理的思考の出現と拡張。

* ピアジェの具体的操作期に該当します。子供は、より明確に比較や弁別を行い、概念や構造を形成できるようになります。

＊比較と弁別の例:

- 比較的抽象的な概念：例えば、同じ科目内で異なる内容（植物 vs. 動物）を比較。
- 複雑な分類：特徴を基に階層構造を作る（例：動物を「哺乳類」「鳥類」などに分類）。

4. 思春期（12 歳以上）

●主な特性: 抽象的思考の発達。

＊ピアジェの**形式的操作期**に入ります。この段階では、曖昧な概念や複雑なアイデアをより高度に比較・弁別し、抽象的なモデルとして認識を構造化できます。

＊比較と弁別の例:

- 科学的な推論：異なる理論や仮説の共通点や違いを比較。
- 社会的概念：例えば、「正義」や「自由」といった抽象概念を弁別・構造化。

✦認識を構造化する支援方法

1. 感覚的な実体験を増やす（幼児期～児童期）：**豊かな体験活動**
 - さまざまな形、音、色、触感を直接体験させる。（自然体験、身体感覚を使った活動、造形・創作活動、遊びなど）
2. 対話や質問を通じて思考を促す（児童期・学童期）
 - 「何が違う?」「どっちが似ている?」と問いかけることで弁別をサポート。
3. 抽象的なアイデアを具体化する（思春期）
 - 図表やモデル、ディスカッションを通じて抽象的な概念を分かりやすく。

架け橋カリキュラム実践サポート 参考図書資料

佐呂間町架け橋プログラムの実践に関わる参考図書

1 保育所用参考図書(施設配置用)

	参考図書名	著者・監修者	出版社
1	「遊びや生活の中で“10の姿”を育む保育」	幼少年教育研究所 編著	チャイルド本社
2	「遊びと学びをつなぐこれからの保幼小接続カリキュラム」	木下 光二 著	チャイルド本社
3	「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」	文部科学省 編	チャイルド本社

2 小学校用参考図書(施設配置用)

	参考図書名	著者・監修者	出版社
1	「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」	文部科学省 他 編著	学事出版
2	「遊びと学びをつなぐこれからの保幼小接続カリキュラム」	木下 光二 著	チャイルド本社
3	「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」	文部科学省 編	チャイルド本社
4	「小 1 担任のためのスタートカリキュラムブック」	安藤 浩太 著	明治図書

5	「スタートカリキュラムと教科をつなぐ 小1担任の授業術」	安藤 浩太 著	明治図書
6	「教師用指導資料 小学校体育指導の手引き(低学年)」	スポーツ庁 編	東洋館出版社

3 実践に際しての参考図書(情報提供用)

	参考図書名	著者・監修者	出版社
1	「教育課程を創る学校経営戦略」 ～カリキュラム・マネジメントの理論と実践～	天笠 茂 著	ぎょうせい
2	「生活科と学校の経営」	長岡 順 天笠 茂 共著	東洋館出版社
3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	無藤 隆 編著	東洋館出版社
4	「幼保小「架け橋プログラム」実践のためのガイド」	湯川 秀樹 他監修	ミネルヴァ書房
5	「学びと発達の連続性」 ～幼小接続の課題と展望～	全国幼児教育研究 協会 編	チャイルド本社
6	「子どもの育ちと学びをつなぐー幼小連携の在り方と接続カリキュラムの作成ー」	善野 八千子 前田 洋一 共著	MJ-books
7	「保育所児童保育要録」	無藤 隆 監修 大方 美香 編著	チャイルド本社
8	「スタートカリキュラム&活動アイディア」	松村 英二 寶来生志子 共著	明治図書
9	「10の姿プラス5・実践解説書」	無藤 隆 編著	ひかりのくに
10	「幼児教育から小学校教育への接続」	田澤 里喜 吉永 安里 共著	世界文化社
11	「教育発達学の展開 ～幼小接続・連携へのアプローチ～」	松永あけみ 水戸 博道 渋谷 恵 編著	風間書房
12	「よくわかる発達心理学」	渡辺 弥生 監修	ナツメ社
13	「発達」No.173「幼保小の連携」	ミネルヴァ書房編	ミネルヴァ書房
14	初等教育資料 2023.11月号	文部科学省 編	東洋館出版社
15	初等教育資料 2024.8月号	文部科学省 編	東洋館出版社
16	「保育ナビ」2023.6月号	フレーベル館 編	フレーベル館
17	「横浜版接続期カリキュラム実践事例集」 8集～9集	吉永安里 監修 汐見稔幸 特別監修	横浜市こども青年局 保育・教育支援課
18	「横浜版接続期カリキュラム 平成29年度版 育ちと学びをつなぐ」	無藤 隆 監修	横浜市こども青年局 横浜市教育委員会

4 基本資料

	参考図書名	著者・監修者	出版社
1	「 <u>幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて の手引き(初版)</u> 」	文部科学省 HP	—

2	「 <u>幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて の手引きの参考資料(初版)参考資料</u> 」	文部科学省 HP	—
3	「 <u>学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学 校教育の接続について～幼保小の協働による 架け橋期の教育の充実～</u> 」(「審議まとめ」)	文部科学省 HP	—
4	「 <u>保育所保育指針解説</u> 」	厚生労働省 編	フレーベル館
5	「 <u>幼保連携型認定こども園教育・保育要領解 説</u> 」	内閣府 文部科学省 厚生労働省 編	フレーベル館
6	「 <u>幼稚園教育要領解説</u> 」	文部科学省 編	フレーベル館
7	「 <u>小学校学習指導要領</u> 」	文部科学省 編	東洋館出版社
8	「 <u>小学校学習指導要領</u> 総則編	文部科学省 編	東洋館出版社
9	「 <u>小学校学習指導要領</u> 各教科	文部科学省 編	東洋館出版社

5 その他の参考図書(情報提供用)

	参考図書名	著者・監修者	出版社
1	「ベーシック発達心理学」	開 一夫 齋藤 慈子 共著	東京大学出版会
2	「心理学」	無藤 隆・森 敏昭 遠藤由美・玉瀬耕治 共著	有斐閣
3	「非認知能力を伸ばす実践アイデアブック」	中山芳一・田中麻衣 徳留宏紀 著	東京書籍

さろまっ子の未来づくり
～18年の学びのつながり
を目指して～



(

(